

NMPJ (Ver. 1.3) 使用説明書

ネットワーク・マルチ・プロ
ジェクションの概要

ネットワーク・マルチ・ プロジェクション(NMPJ)の 設定と操作のしかた

各モードでの操作

機能

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご
使用ください。
また、お読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保
管してください。

安全に正しくお使いいただくために.....	4	セッションを検索する	55
安全上の注意を表す記号	4	プロジェクター選択画面を 活用する	57
使用上のご注意	4	プロジェクター選択画面について	57
ネットワークのセキュリティについての ご注意	6	レイアウト機能を活用する	62
第三者のソフトウェアについて	7	各種設定を実施する	68
ネットワーク・マルチ・ プロジェクションの概要.....	9	画面を小型化する	70
ネットワーク・マルチ・ プロジェクションとは	10	LAN 以外の映像と 2 画面表示する	71
インストールする	14	こんなときは	72
動作環境	14	制約事項	73
インストールする	15		
アンインストールする	16		
起動から終了まで	18		
各モードでの操作.....	25		
ダイレクトモードで使用する	26		
操作手順	26		
ダイレクトモード画面について	28		
ミーティングモードで使用する ..	30		
操作手順 (セッションを作成する場合)	30		
操作手順 (セッションに参加する場合)	35		
ミーティングモード画面について	36		
クラスルームモードで使用する ..	38		
操作手順 (司会者の場合)	38		
操作手順 (参加者の場合)	43		
クラスルームモード画面 (司会者用) について	45		
クラスルームモード画面 (参加者用) について	47		
ブロードキャストモードで 使用する	49		
操作手順	49		
ブロードキャストモード画面について ..	51		
機能	53		
セッション選択画面を活用する ..	54		
セッション選択画面について	54		

本書の対象について


本書はコンピューターの操作、ウェブブラウザの操作、プロジェクターの操作、および、ネットワークに関する基本的な操作方法は記載していません。個々の機器、あるいはアプリケーションの操作方法については当該製品の使用説明書をご覧ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
 - HDBaseT™ および HDBaseT Alliancer ロゴは、HDBaseT Alliance の登録商標です。
 - Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
 - Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2 と Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance Setup を意味しています。
 - その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- * 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- * 本書に記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

説明の内容を表す記号

本文中マークがついた欄は、次のような内容となっています。









 操作上の注意事項や知っておいていただきたいことが記載されています。

安全に正しくお使いいただくために





安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
  分解禁止 めれ手禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
 禁止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜け	この記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
 注意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示しています。

使用上のご注意

 警告	
 注意	プロジェクターを取り付け、使用する際は、必ずプロジェクターの使用説明書および周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。火災や感電、故障の原因になります。
  感電注意 電源プラグをコンセントから抜け	プロジェクターの取り付け / 取り外しをするときは、プロジェクターおよび周辺機器の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを AC コンセントから抜いてください。 電源プラグがコンセントに接続されたまま取り付け / 取り外しを行うと、感電および故障の原因になります。

警告



感電注意



分解禁止

プロジェクターの分解や改造や修理を自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。



感電注意



電源プラグをコンセントから抜け

煙が出たり変な臭いや音がしたら、プロジェクターおよび周辺機器の電源スイッチを切り、AC コンセントから電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。



感電注意



禁止

プロジェクターを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因になります。

注意



感電注意



ぬれ手禁止

- 濡れた手でプロジェクターに触れないでください。
- プロジェクターおよび周辺機器の電源プラグが AC コンセントに接続されているときは、感電の原因になることがあります。

注意

ネットワークで使用する場合の安全上の注意

- プロジェクターから異常・警告メールを受信した場合、速やかにプロジェクターの点検を行ってください。異常のまま使用すると火災や事故の原因となることがあります。
- ネットワークを利用し、プロジェクターを遠隔地に設置してご使用になるときは、定期的にプロジェクターの安全点検を行ってください。プロジェクターを遠隔地に設置する場合、設置する使用環境の変化について十分注意を払わなければなりません。設置した環境によっては、火災や事故の原因となることがあります。

ネットワークのセキュリティについてのご注意

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

NMPJ アプリケーションとプロジェクターとの通信は暗号化が施されていないため、セキュリティが確保されていないネットワークで利用された場合、悪意を持つ第三者により本アプリケーションからプロジェクターへ送信する画像データが盗み見られる可能性があります。

ご利用に際しては、プロジェクター本体、コンピューター、ネットワークに適切なセキュリティの設定を行ってください。

- プロジェクターはインターネットに直接接続せず、ファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。
- 無線LAN環境でご利用される場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを推奨します。
- NMPJ Password、無線LANのセキュリティキーは定期的に変更してください。

第三者のソフトウェアについて

NMPJ アプリケーションには、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。詳細を確認する場合は、[P15](#)に記載されている手順に従って、NMPJ アプリケーションが含まれる圧縮ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、[thirdparty_software] > [NMPJ] > [LICENCE] フォルダ「ThirdPartySoftware.pdf」(第三者ソフトウェアライセンス) をご覧ください。

また、各モジュールのライセンス条件につきましては、同じフォルダに含まれていますので、ご覧ください。

ネットワーク・マルチ・ プロジェクションの 概要

ネットワーク・マルチ・プロ
ジェクションの概要

各モードでの操作

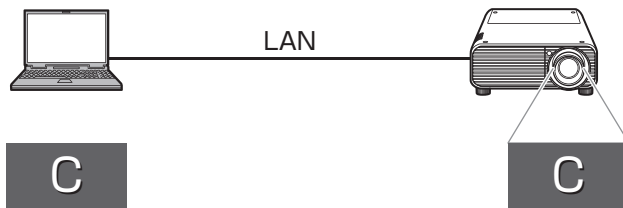
機能

ネットワーク・マルチ・プロジェクションとは

ネットワーク・マルチ・プロジェクション（以下、NMPJ）は、コンピュータの画面をLANを介してプロジェクターで投写する機能です。

■ ネットワークを介した投写

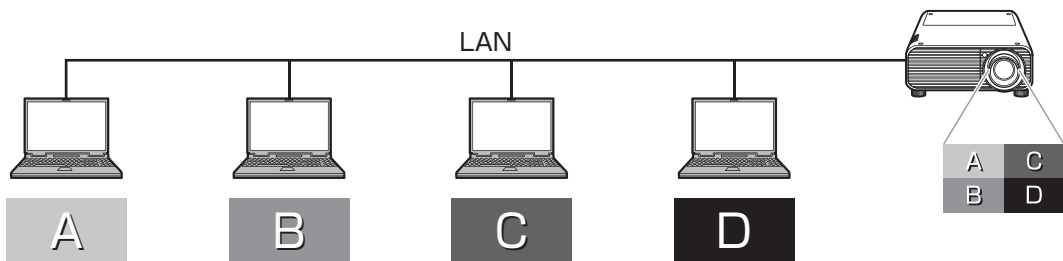
複数のコンピュータと複数のプロジェクターを接続し、様々な形式で投写することができます。



ネットワーク経由でコンピュータとプロジェクターを接続
・ダイレクトモード

■ 画面分割による複数画像の投写

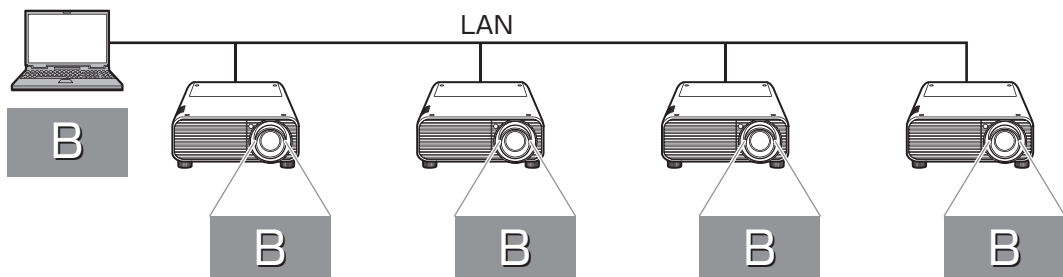
複数台のコンピュータの映像を分割して、プロジェクターから投写することができます。



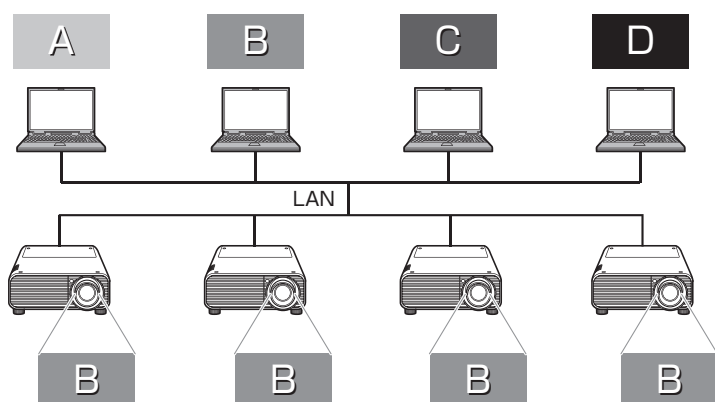
画面を分割することで複数のコンピュータの画面を投写
・ミーティングモード、クラスルームモード

■ 複数のプロジェクターへの同時投写

1 台のコンピュータの映像を複数台のプロジェクターから投写することができます。



コンピュータの映像を複数台のプロジェクターから投写
・ミーティングモード、クラスルームモード、ブロードキャストモード

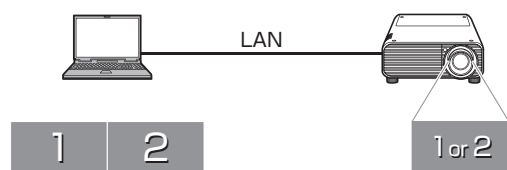


ネットワーク上に接続された複数台のコンピュータの特定の1台の映像を複数台のプロジェクターから投写

・ミーティングモード、クラスルームモード

■ 投写するモニターを選択する

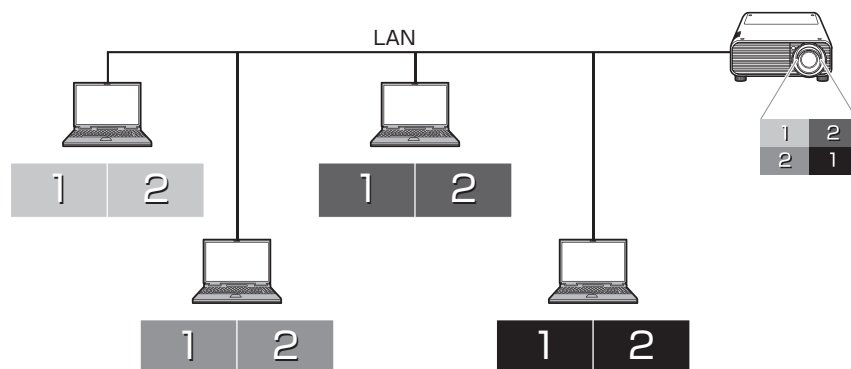
コンピュータに複数台のモニターが接続されている場合、プライマリモニターとセカンダリモニターのどちらかを選んで投写することができます。



プライマリモニターとセカンダリモニターのどちらかを選択

・ダイレクトモード、ミーティングモード、クラスルームモード、ブロードキャストモード

投写するモニターはコンピュータごとに選択が可能です。



コンピュータごとにプライマリモニター/セカンダリモニターを選択

・ミーティングモード、クラスルームモード



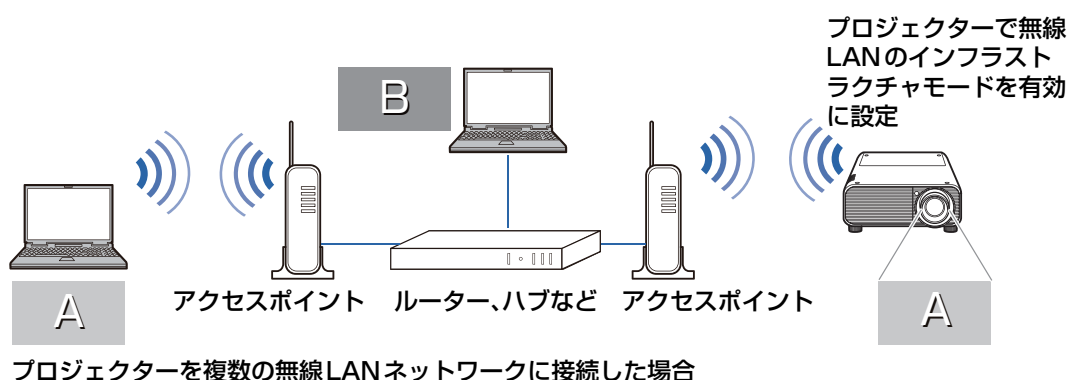
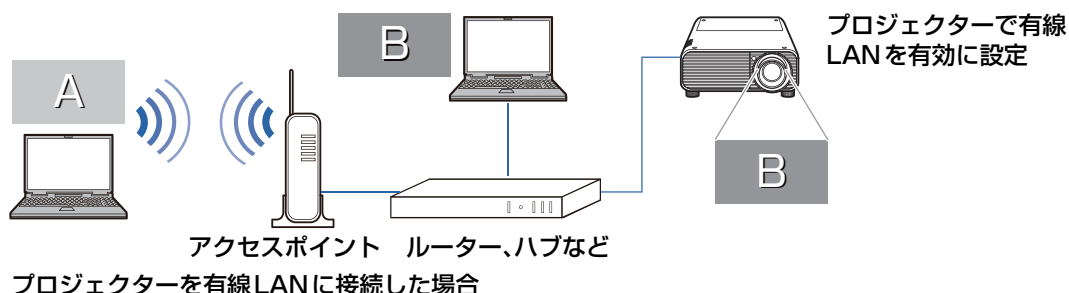
- コンピュータの種類によってはプライマリモニター / セカンダリモニターの切り換え機能が使用できないものもあります。
- ネットワークで接続するコンピュータやプロジェクターの台数が多い場合、アプリケーションの反応が遅くなることがあります。
- 3 台以上のモニターに出力できるコンピュータの場合、どのモニターの画面が投写されるかは、コンピュータの種類に依存します。

■ プロジェクターとの接続方法

プロジェクターとネットワークを介して接続する方法として「インフラ接続」と「無線ダイレクト接続」があります。

インフラ接続

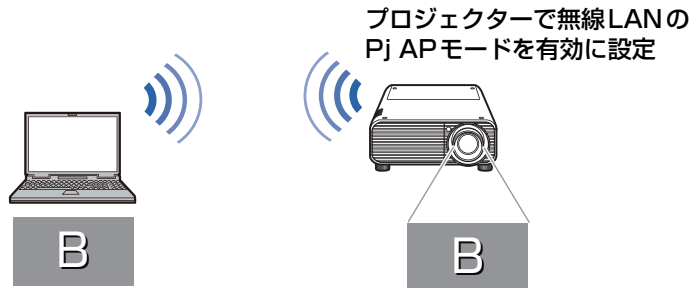
- インフラ接続は、ネットワーク機能の設定が有線LAN、または無線LANのインフラストラクチャーモードになっているプロジェクターと接続を確立する方法です。プロジェクターがすでにネットワークに接続されている場合には、こちらの接続方法が適しています。



無線LANが搭載されていないプロジェクターは無線LANネットワークに接続できません。

無線ダイレクト接続

- 無線ダイレクト接続は、無線LAN対応のコンピューターとPj AP（プロジェクターアクセスポイント）モードが設定されているプロジェクターとの接続を確立する方法です。プロジェクターがネットワークに繋がってなくても、プロジェクターとコンピューター間で直接通信を行うことで、画面を投写することができます。



無線LANが搭載されていないプロジェクターは無線ダイレクト接続はできません。




インストールする

NMPJ機能を使用するには、使用するコンピューターにNMPJアプリケーション（以下、本アプリケーション）をインストールする必要があります。

本書ではWindows 7環境でのインストール方法を記載しています。

動作環境

本アプリケーションの動作環境は以下のとおりです。

CPU	Core 2 Duo P8600 2.4GHz 以上（32bit または 64bit）
メモリ	1 GByte 以上
HDD	32GByte 以上
モニター	解像度 1024 × 768 ドット以上 <div> モニターの解像度が、1024 × 768 ドット未満のコンピューターにはインストールできません。また、インストール後にモニターの解像度を1024 × 768 ドット未満に変更した場合、動作は保証されません。</div>
対応 OS	Windows Vista (Business) SP2 Windows 7 (Home/Professional/Ultimate) SP1 Windows 8 (Pro) Windows 8.1 (Pro) Windows 10 (Pro) ※ Windows Vista は 32bit のみ対応 ※ Windows 7 以降は 32bit/64bit に対応 <div> <ul style="list-style-type: none">上記以外の OS、エディションについての動作は保証されません。日本語、中国語（簡体字）以外の言語のメニューについてはすべて英語で表示されます。日本語、英語、中国語（簡体字）以外の OS 言語についての動作は保証されません。Aero 使用時には、「パフォーマンスをあげるため画面の配色を変更しますか？」という内容のメッセージが通知されることがあります。その場合「現在の画面の配色をそのままにして、このメッセージを今後表示しない」を選択することをお勧めします。</div>
ネットワーク	TCP/IP プロトコルをサポートしたネットワーク環境で、コンピューターとプロジェクターが、以下の LAN で接続されていること。 有線 LAN（1000BASE-T、100BASE-TX） 無線 LAN（IEEE802.11b/g/n） <div> <ul style="list-style-type: none">本アプリケーションは、コンピューターとプロジェクターの間にルーターが設置されても通信可能ですが、動作を保証するルーターホップ数は 1 です。無線ダイレクト接続を使用する場合は、コンピューターの無線 LAN の IP アドレスを自動取得（DHCP 有効）に設定してください。ただし、無線LANが搭載されていないプロジェクターは無線ダイレクト接続はできません。</div>

インストールする

- 1 NMPJアプリケーションが含まれる圧縮ファイルをキャノンのウェブサイトから取得してください。
- 2 ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、実行ファイル (NMPJInstaller-01-03-00**.*****.exe) をダブルクリックします。
NMPJ アプリケーションのインストールが開始されます。
- 3 以降、画面の指示にしたがって操作します。




- ソフトウェアを起動したり、インストールやアンインストールを行ったりした場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。
このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、[はい] (または [続行]、[許可]) をクリックして、操作を続けてください。
- ソフトウェアによっては、管理者の権限を持つユーザー以外で操作が続行できない場合があります。標準ユーザーでログオンした場合は、管理者に切り換え、操作をやり直してください。
- インストールを完了するには、再起動が必要な場合があります。再起動を促された場合は、必ずコンピューターを再起動してください。
- インストールの途中で、ファイアウォールへの登録を促すメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、Windows ファイアウォールに本アプリケーションを登録したうえで、インストールを進めます。「いいえ」をクリックした場合は、Windows ファイアウォールに本アプリケーションを登録せずにインストールを進めますが、本アプリケーションの初回起動時、Windows ファイアウォールのアラートが表示されます (P18)。

■ バージョンアップするには

コンピューターに本アプリケーションがインストール済みで、インターネットに接続している場合、自動で最新バージョンのアプリケーションがあるかの確認をします (オートアップデート機能)。インストールを促すメッセージが表示された場合、その表示にしたがってインストールすることで最新バージョンのアプリケーションを利用することができます。




- 現在のバージョンは、アプリ上部の「ネットワーク・マルチ・プロジェクションの概要

アンインストールする

■ Windows 7 以前の場合

ここでは、Windows 7 以前の環境でのアンインストール方法を記載します。

- 1 [スタート]メニューを開き、[すべてのプログラム] > [Canon NMPJ] >  [NMPJ アンインストール] を選択します。
- 2 [ユーザーアカウント制御] 確認画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
- 3 確認画面で [OK] をクリックします。
- 4 アンインストールの完了後、確認画面で [OK] をクリックします。



アンインストールを完了するには、再起動が必要な場合があります。再起動を促された場合は、必ずコンピューターを再起動してください。

- 5 以下のフォルダを手動で削除します。

C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\Canon\NMPJ



上記ファイルは隠しファイルとなっています。以下のような手順で表示させることができます。

Windows Vista


エクスプローラーの [ツール] > [フォルダオプション] > [表示] を選択し、[すべてのファイルとフォルダを表示する] にチェックを入れます。

Windows7

エクスプローラーの [ツール] > [フォルダオプション] > [表示] を選択し、[隠しファイル、隠しフォルダーおよび隠しドライブを表示する] にチェックを入れます。

■ Windows 8 以降の場合

ここでは、Windows 8以降の環境でのアンインストール方法を記載します。

- 1 [アプリ] 画面の [Canon NMPJ] にある  [ネットワークマルチプロジェクション] を右クリックします。
- 2 [アプリ] 画面下部に表示されるメニューから [アンインストール] をクリックするか、アプリバーの [アンインストール] をクリックし、表示される画面の [アンインストール] をクリックします。
- 3 [プログラムと機能] 画面が表示されるので、[Canon NMPJ] を選択します。
- 4 [アンインストールと変更] を選択します。
- 5 確認画面で [OK] をクリックします。



アンインストールを完了するには、再起動が必要な場合があります。再起動を促された場合は、必ずコンピューターを再起動してください。

6 以下のフォルダを手動で削除します。

C:\Users\ <ユーザー名> \AppData\Local\Canon\NMPJ



上記ファイルは隠しファイルとなっています。以下のような手順で表示させることができます。


エクスプローラーの [ツール] > [フォルダオプション] > [表示] を選択し、[隠しファイル、隠しフォルダーおよび隠しドライブを表示する] にチェックを入れます。

起動から終了まで


本アプリケーションの起動から終了までの手順は以下のとおりです。画面例は、ダイレクトモードの場合です。

1 スタートメニューからネットワークマルチプロジェクションを選択します。

(Windows 7 以前の場合)

[スタート] メニューを開き、[すべてのプログラム] > [Canon NMPJ] >  ネットワークマルチプロジェクション] を選択します。

(Windows 8 以降の場合)

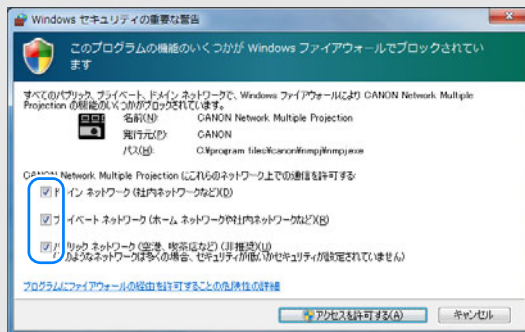
[スタート] メニューを開き、[アプリ] (または [すべてのアプリ]) > [Canon NMPJ] >  ネットワークマルチプロジェクション] を選択します。



Windows ファイアウォールについて

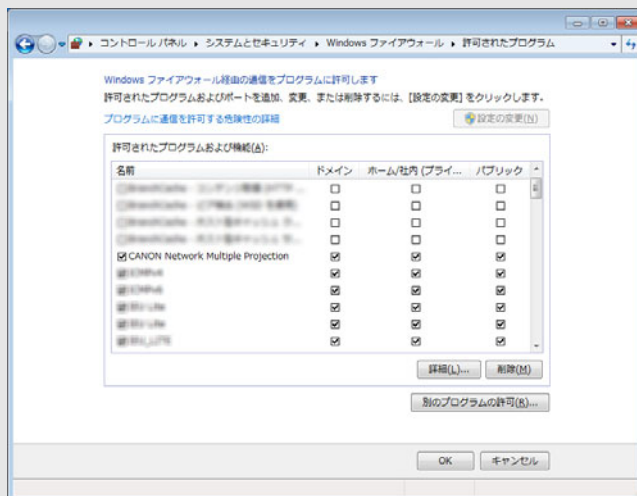
本アプリケーションの初回起動時、Windows ファイアウォールの設定により、以下のようなアラートが表示される場合があります。

プロジェクターとの通信に必要な設定のため、すべてのチェックボックスにチェックを入れ、[アクセスを許可する] ボタンをクリックしてください。



アラートを閉じた後に設定を変更する場合は [スタート] メニューを開き、[コントロール パネル] > [システムとセキュリティ] > [Windows ファイアウォール] > [Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] を選択します。

許可されたプログラムおよび機能の一覧より「CANON Network Multiple Projection」を選択し、すべてのチェックボックスにチェックを入れて下さい。



2 接続方法を選択します。

接続方法選択画面で、使用する接続方法の [OK] をクリックします。



- 無線 LAN が搭載されていないプロジェクターは、無線ダイレクト接続を選択して通信することはできません。
- コンピューターの無線ネットワークアダプターが Pj AP（プロジェクターアクセスポイント）モードになっているプロジェクターと接続済みの場合、インフラ接続は選択できません。
- 画面右上の 4 つのボタンは、以降の各画面に共通する機能です。（画面によってはボタンが増える場合もあります）



本アプリケーションのヘルプを表示します。



設定画面を表示します。



画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。



画面を閉じます。

3 接続します。

コンピューターに複数のネットワークアダプターが装着されている場合、または、1つのネットワークアダプターに複数の IP アドレスが設定（IP エイリアス）されている場合、ネットワークアダプターの選択画面が表示されるので、使用するネットワークアダプターの [OK] をクリックします。



- インフラ接続の場合、リンクアップしていないネットワークアダプターはリストに表示されません。
- 現在使用できないネットワークアダプターは、選択するとメッセージが表示されます。
- コンピューターの無線 LAN の DHCP 機能が無効（IP アドレスが固定）に設定されていると、メッセージが表示されます。DHCP 機能を有効に設定することで使用することができます。

4 選択画面を表示します。

(インフラ接続の場合)

モード選択画面が表示されるので、手順 5 へ進みます。

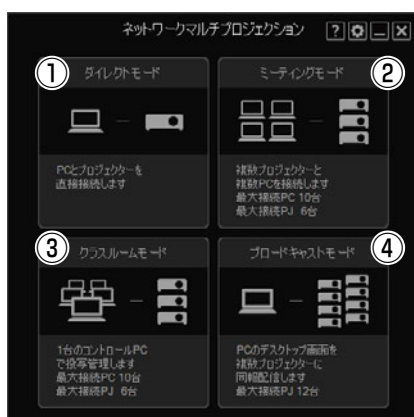
(無線ダイレクト接続の場合)

プロジェクター SSID 選択画面が表示されます。接続するプロジェクターの SSID をクリックします。(P23)



- 無線 LAN が搭載されていないプロジェクターは無線ダイレクト接続はできません。
- 無線 LAN の接続に対応し、ネットワーク機能の設定が Pj AP (プロジェクターアクセスポイント) モードになっているプロジェクターの SSID をリストに表示します。
- SSID の左側には、電波強度を示すアイコンが表示されます。
- 選択した SSID にセキュリティが設定されている場合は、Wi-Fi セキュリティキー入力画面が表示されるので、セキュリティキーを入力してください。SSID のセキュリティキーについては、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。

5 モード選択画面で、使用するモードをクリックします。



①ダイレクトモード

1 台のコンピューターと 1 台のプロジェクターを接続します。(P26)

②ミーティングモード

複数のコンピューターと複数のプロジェクターを接続します。複数のコンピューターの画面を見ながらの会議などに適しています。(P30)

③ クラスルームモード

複数のコンピューターと複数のプロジェクターを接続します。どのコンピューターの画面をどのプロジェクターで投写するかなどを 1 台のコンピューター（司会者役）からコントロールできます。（P38）

④ ブロードキャストモード

1 台のコンピューターを複数のプロジェクターに接続します。大ホールで複数箇所に設置したプロジェクターから同じ画像を投写する場合などに適しています。（P49）



無線ダイレクト接続の場合

- ・ミーティングモード、またはクラスルームモードでは、接続できるコンピューターは最大 5 台、プロジェクターは 1 台です。
- ・ブロードキャストモードは使用できません。
- ・無線 LAN が搭載されていないプロジェクターは無線ダイレクト接続はできません。

6 モードに応じ「セッションの作成」、「セッションへの参加」、「プロジェクターの選択」を行います。

7 [投写] をクリックします。

画面の [投写] をクリックすると、投写が開始されます。





8 投写を終了するには、[投写停止] をクリックします。




- 9** モード選択画面に戻るには、画面右上の  をクリックします。




 画面右上の「」をクリックすると、直接、接続方法選択画面に戻ります。

- 10** 確認画面が表示されるので、[モード選択画面に戻る] ダイアログをクリックします。



- 11** 接続方法選択画面に戻るには、モード選択画面右上の  をクリックします。



- 12** 本アプリケーションを終了するには、接続方法選択画面右上の「」をクリックします。



■ セッションについて

「セッション」とは、本機能を使ったコンピューターとプロジェクターのグループのことです。

ミーティングモードとクラスルームモードでは、参加する最初のユーザーは、そのグループ用のセッションを作成する必要があります。他の参加者は、参加するセッションをセッションリストから選択して参加します。

なお、ブロードキャストモードでは、接続対象のプロジェクターを選択することで、自動的にセッションが作成されます。

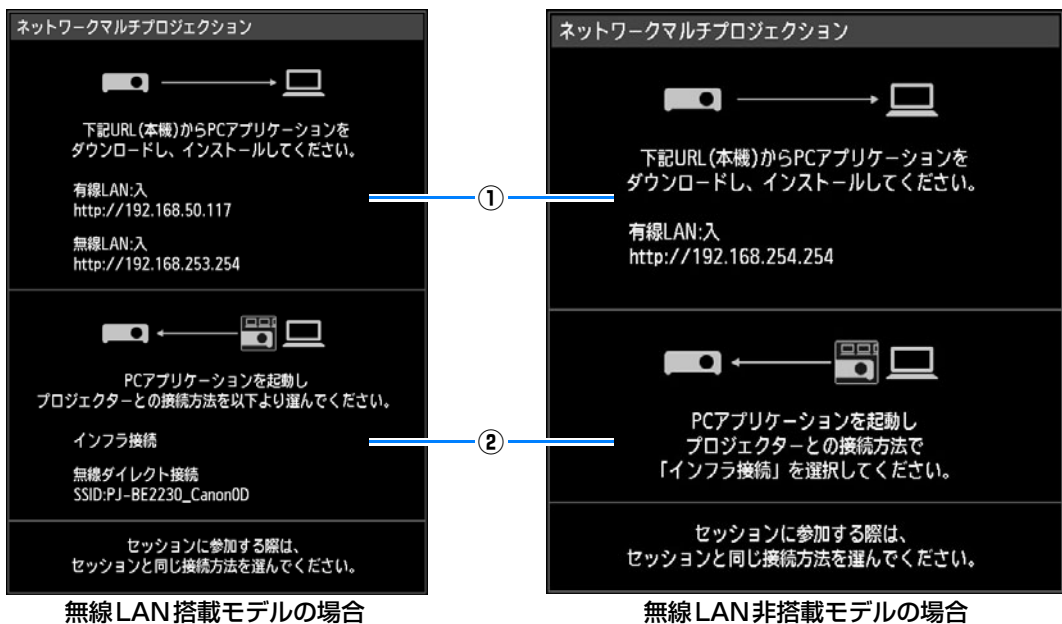


セッションへの参加は、セッション作成時の接続方法（インフラ接続または無線ダイレクト接続）と同一の接続をしている場合のみ可能です。

■ LAN 入力待ち受け画面について

プロジェクター本体の入力切り替えで LAN を選択すると、LAN 入力待ち受け画面が表示されます。

プロジェクターのネットワーク機能の設定や、利用できる接続方法を表示します。



① ネットワーク機能

プロジェクター本体で有効になっているネットワーク機能が表示されます。無効になっている場合はグレーアウトで表示されます。

また、本アプリケーションをダウンロードするための URL が表示されます。最新バージョンはウェブサイトからダウンロードすることができます。インストールについては、「インストールする」(P14) を参照してください。

② 接続方法

本アプリケーションがプロジェクターと接続する際に利用できる接続方法が表示されます。利用できない接続方法は、グレーアウトで表示されます。

また、無線ダイレクト接続でプロジェクターと接続する際に必要な SSID が表示されます。

各モードでの操作

ネットワーク・マルチ・プロ
ジェクションの概要

各モードでの操作

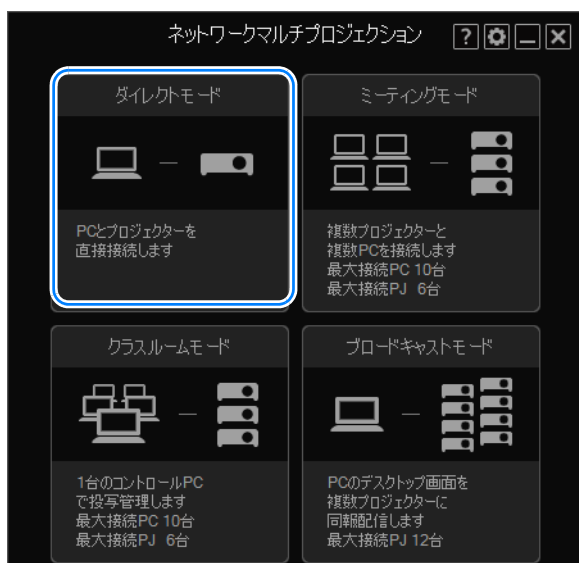
機能

ダイレクトモードで使用する

本モードでは、1 台のコンピューターと 1 台のプロジェクターをネットワーク経由で接続します。

操作手順

- 1 モード選択画面で「ダイレクトモード」を選択します。



- 2 ダイレクトモード画面が表示されます。📋 をクリックします。



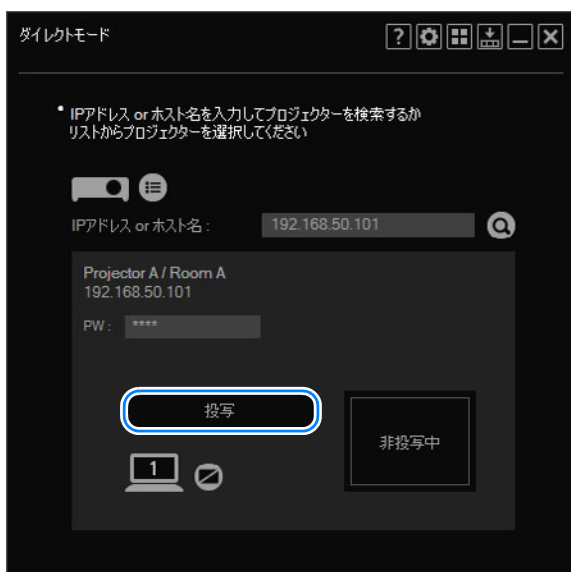
サブネット外のプロジェクターに接続する場合は、[IP アドレス or ホスト名] 欄にプロジェクターの IP アドレスまたはホスト名を入力して 🔍 をクリックします。

3 プロジェクター選択画面が表示されます。接続するプロジェクターをクリックします。





プロジェクター選択画面については、「プロジェクター選択画面を活用する」(P57) を参照してください。

4 再びダイレクトモード画面が表示されます。[投写] をクリックします。

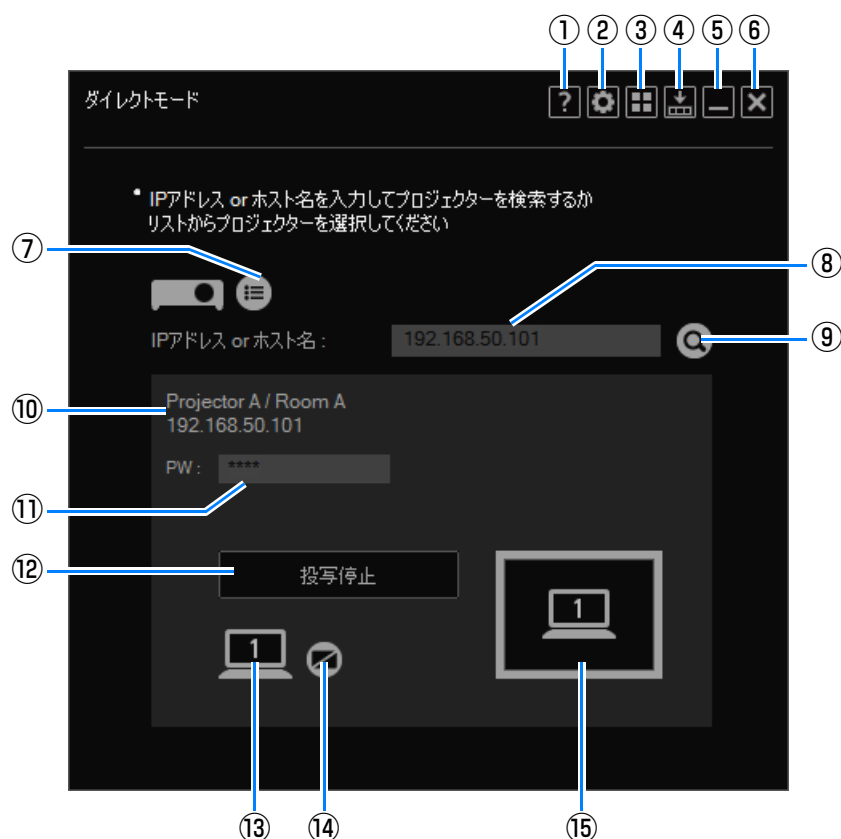


コンピューターの画面が投写されます。



- プロジェクターの設定画面で、NMPJ Password が設定されている場合は、パスワードを入力してください。NMPJ Password については、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。
- 投写を停止するには、[投写停止] をクリックします。
- 他のコンピューターが使用中、または、電源が OFF など、現在使用できないプロジェクターの場合、Busy アイコン () が表示されます。Busy アイコン () は自動的に更新されません。再度、プロジェクターを選択、または検索することで、最新のプロジェクターの状態が表示されます。

ダイレクトモード画面について



①ヘルプ

本アプリケーションのヘルプを表示します。

②設定画面表示

設定画面を表示します。

③モード選択画面に戻る

モード選択画面に戻ります。

④小型化

画面を小型化します。(P70)

⑤最小化

画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑥終了

接続方法選択画面に戻ります。

⑦ プロジェクターリスト

プロジェクターリストを表示します。

⑧ IPアドレスまたはホスト名

サブネット外のプロジェクターに接続する場合は、ここにプロジェクターのIPアドレスまたはホスト名を入力し、⑨をクリックします。

⑨ プロジェクター検索

⑧に入力したIPアドレスまたはホスト名のプロジェクターを検索します。検索結果は⑩に表示されます。過去の検索履歴(最大5件)から選択することもできます。

⑩ プロジェクター情報

プロジェクターリストで選択したプロジェクター、もしくは、IPアドレスまたはホスト名で検索したプロジェクターの名前、コメント、IPアドレスまたはホスト名、無線マーク(無線LAN接続の場合)が表示されます。

⑪ パスワード

プロジェクターの設定画面で、NMPJ Passwordが設定されているプロジェクターの場合、投写するにはここにパスワードを入力する必要があります。NMPJ Passwordについては、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。

⑫ 投写

プロジェクターでの投写を開始します。投写中は、ボタンが[投写停止]になり、クリックすることで投写が停止します。

⑬ プライマリモニター / セカンダリモニター切り換え

お使いのコンピューターで、セカンダリモニターが有効な場合のみ、数字が表示されます。クリックすることで、プライマリモニター / セカンダリモニターを切り換えることができます。

⑭ プロジェクターブランク

プロジェクターの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑮ 投写状況

投写状態を表示します。

ミーティングモードで使用する

ミーティングモードでは、複数のコンピューターと複数のプロジェクターを接続します。多人数で複数のコンピューターを持ち込んで会議を行う場合などに用いるモードです。接続できるコンピューターは最大10台で、プロジェクターは最大6台です。



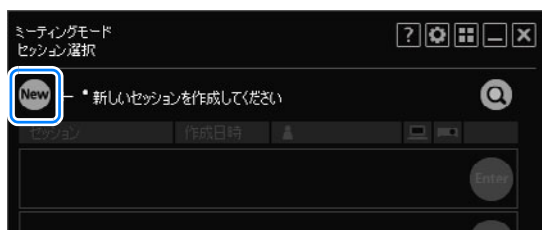
無線ダイレクト接続の場合は、接続できるコンピューターは5台、プロジェクターは1台です。ただし、無線LANが搭載されていないプロジェクターは無線ダイレクト接続はできません。

操作手順（セッションを作成する場合）

- 1 モード選択画面で「ミーティングモード」を選択します。




- 2 セッション選択画面が表示されます。「New」をクリックします。



3 プロジェクター選択画面が表示されます。左のプロジェクター一覧から、接続するプロジェクターをクリックします。

プロジェクターは最大 6 台まで選択できます。選択されたプロジェクターは右の一覧に表示されます。



- プロジェクターの設定画面で、NMPJ Password が設定されている場合は、パスワードの入力を求められるので、パスワードを入力してください。NMPJ Password については、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。
- プロジェクターの選択を解除するには、プロジェクターの右上の  をクリックしてください。
- プロジェクター選択画面については、「プロジェクター選択画面を活用する」(P57) を参照してください。

4 [次へ] をクリックします。

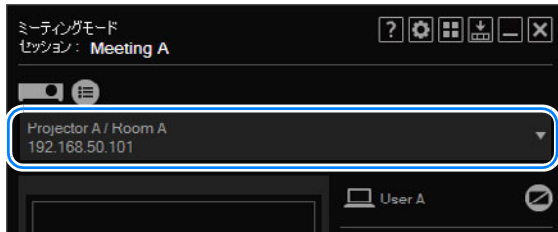


- 5** セッション作成画面が表示されます。セッションの名称、セッションパスワード、ニックネーム、下位互換、デスクトップ選択（プライマリモニター / セカンダリモニターのどちらを投写するか）を設定し、[OK] をクリックします。

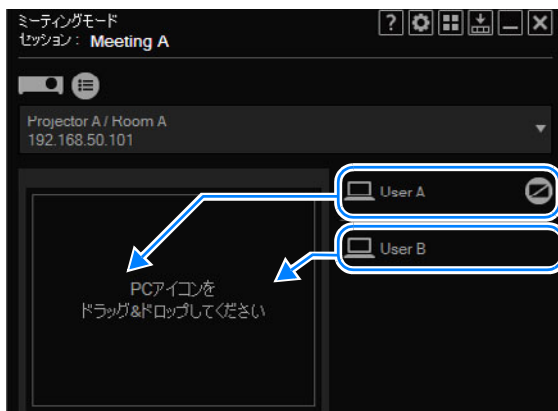


- 「セッションパスワード」を設定すると、他のユーザーがセッションに参加する場合にそのパスワードの入力が必要になります。設定する場合は [Set] をクリックし、パスワードを設定してください。
- 「下位互換」は、セッションの互換性を設定します。
 [ON] に設定すると、NMPJ のバージョンが V1.0 で動作するプロジェクターやコンピューターはセッションに参加することができますが、音声機能や PbyP 機能など一部の機能が使用できなくなります。
 [OFF] に設定すると、セッションの作成時に選択したプロジェクターによって、セッションの互換性および使用できる機能が決まります。
 選択したプロジェクターの NMPJ のバージョンが V1.3 に対応したプロジェクターのみの場合、NMPJ のバージョン V1.0 で動作するプロジェクターおよびコンピューターは、セッションに参加できなくなりますが、NMPJ のバージョン V1.3 の全機能を使用することができます。
 また、NMPJ のバージョン V1.0 のプロジェクターが含まれる場合、NMPJ のバージョン V1.0 で動作するプロジェクターやコンピューターはセッションに参加することができますが、音声機能や PbyP 機能など一部の機能が使用できなくなります。NMPJ のバージョン V1.1/V1.2/V1.3 で動作するプロジェクターやコンピューターのみで作成したセッションでは、音声機能や PbyP 機能などの機能が使用できます。
- デスクトップ選択機能が有効になるのは、コンピューターがデュアルモニターをサポートしている場合だけです。

- 6** ミーティングモード画面が表示されます。投写を制御するプロジェクターをプルダウンリストから選択します。



- 7** 選択したプロジェクターで投写したいコンピューターを右の一覧から選択し、レイアウトエリアにドラッグ&ドロップします。
最大 4 台までのコンピューターをレイアウトエリアに配置できます。



- 8** 必要に応じ、レイアウトエリア内で投写したいコンピューターのレイアウトをドラッグ&ドロップにより変更します。
投写時には、レイアウトエリアでの配置に合わせて各コンピューターの画面が投写されます。



9 [投写] をクリックします。

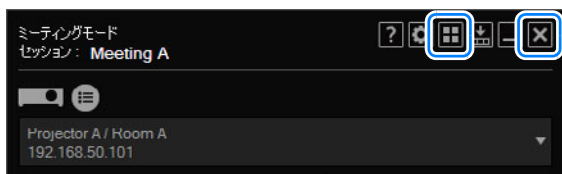




レイアウトしたコンピューターの画面が投写されます。



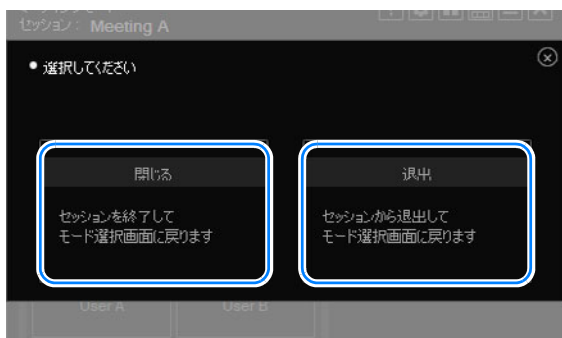
- 投写を停止するには、[投写停止] をクリックします。
- 投写中にレイアウトを変更した場合は、改めて [投写] をクリックしてください。レイアウトを変更しただけでは、変更内容は投写に反映されません。

10 セッションを終了する場合は、画面右上の または をクリックします。



-  ボタンをクリックした場合は、モード選択画面に戻ります。
-  ボタンをクリックした場合は、接続方法選択画面に戻ります。

11 確認画面が表示されます。セッション自体を終了する場合は [閉じる] ダイアログ、自分だけが退出する場合は [退出] ダイアログをクリックします。



他のコンピューターが接続していない場合は、[退出] は表示されません。


操作手順（セッションに参加する場合）

- 1 モード選択画面で「ミーティングモード」を選択します。

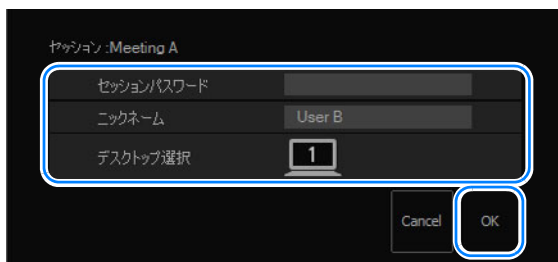


- 2 セッション選択画面が表示されます。参加するセッションの「Enter」をクリックします。



サブネット外のセッションに参加する場合は、 をクリックし、プロジェクターの IP アドレスまたはホスト名を入力して検索を行ってください。サブネット外のセッションが検索されます。詳しくは「セッション選択画面を活用する」(P54) を参照してください。

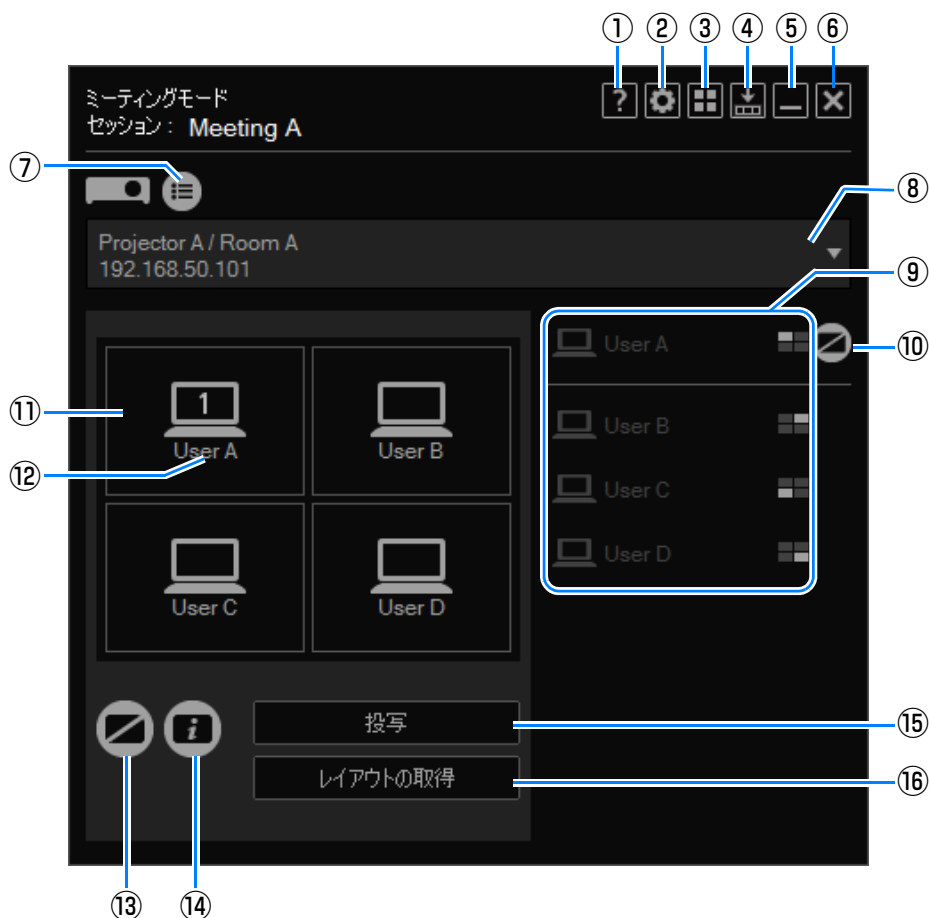
- 3 セッションへのログイン画面が表示されます。セッションパスワード、自分のニックネーム、デスクトップ選択（プライマリモニター / セカンダリモニターのどちらを表示するか）を設定し、「OK」をクリックします。



デスクトップ選択は、コンピューターがデュアルモニターに設定されている場合にのみ表示されます。

- 4 ミーティングモード画面が表示されます。以降の操作は、「操作手順（セッションを作成する場合）」(P30) の手順6以降を参照してください。

ミーティングモード画面について



①ヘルプ

本アプリケーションのヘルプを表示します。

②設定画面表示

設定画面を表示します。

③モード選択画面に戻る

モード選択画面に戻ります。

④小型化

画面を小型化します。(P70)

⑤最小化

画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑥終了

接続方法選択画面に戻ります。

⑦ プロジェクターリスト

プロジェクターリストを表示します。

⑧ プロジェクタープルダウンリスト

接続しているプロジェクターの一覧が表示されます。ここで選択したプロジェクターが、この画面での設定対象になります。

⑨ コンピューター

接続中のコンピューターの一覧です。コンピューターをレイアウトエリアにドラッグ&ドロップすることで、投写できるようになります。一番上のコンピューターは、自分自身のコンピューターを示します。



は、白い点がレイアウトエリアでのこのコンピューターの位置を表します。

⑩ コンピューターブランク

このコンピューターからの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑪ レイアウトエリア

コンピューターをここにドラッグ&ドロップして、コンピューターの投写位置を決めます。

⑫ 配置されたコンピューター

ドラッグ&ドロップで配置を変えることができます。自分のコンピューターで、セカンダリモニターが有効な場合のみ、数字が表示されます。

クリックすることで、プライマリモニター / セカンダリモニターを切り換えることができます。

⑬ プロジェクターブランク

プロジェクターの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑭ 情報表示

他のユーザーがセッションに参加する際に必要となる情報をプロジェクターで投写します。ここで投写されるIPアドレスまたはホスト名は、セッションに使用されているいずれかのプロジェクターのものです。

⑮ 投写

プロジェクターでの投写を開始します。投写中は、ボタンが「投写停止」になり、クリックすることで投写が停止します。

⑯ レイアウトの取得

選択中のプロジェクターのレイアウトを表示します。



プロジェクタープルダウンリストで、「ALL」を選択した場合、「レイアウトの取得」がグレーアウトで表示されます。

クラスルームモードで使用する

クラスルームモードでは、複数のコンピューターと複数のプロジェクターを接続します。自分や参加者のどのコンピューターの画面をどのプロジェクターで投写するかなどを1台のコンピューター（司会者役）からコントロールできます。接続できるコンピューターは最大10台で、プロジェクターは最大6台です。



無線ダイレクト接続の場合は、接続できるコンピューターは5台、プロジェクターは1台です。ただし、無線 LAN が搭載されていないプロジェクターは無線ダイレクト接続はできません。

操作手順（司会者の場合）

- 1 モード選択画面で「クラスルームモード」を選択します。




- 2 セッション選択画面が表示されます。[New] をクリックします。



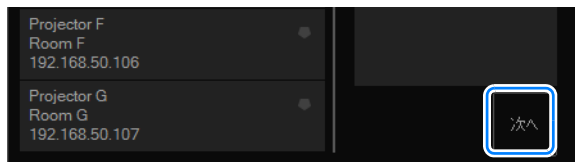
3 プロジェクター選択画面が表示されます。左のプロジェクター一覧から、接続するプロジェクターをクリックします。

プロジェクターは最大 6 台まで選択できます。選択されたプロジェクターは右の一覧に表示されます。



- プロジェクターの設定画面で、NMPJ Password が設定されている場合は、パスワードの入力を求められるので、パスワードを入力してください。NMPJ Password については、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。
- プロジェクターの選択を解除するには、プロジェクターの右上の  をクリックしてください。
- プロジェクター選択画面については、「プロジェクター選択画面を活用する」(P57) を参照してください。

4 [次へ] をクリックします。

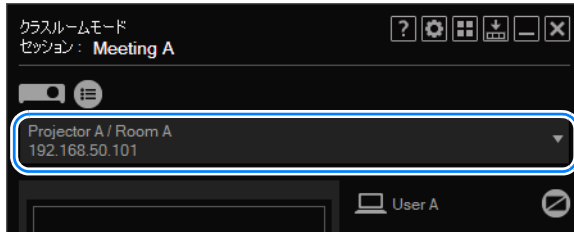


- 5** セッション作成画面が表示されます。セッションの名称、セッションパスワード、ニックネーム、下位互換、デスクトップ選択（プライマリモニター / セカンダリモニターのどちらを投写するか）を設定し、[OK] をクリックします。

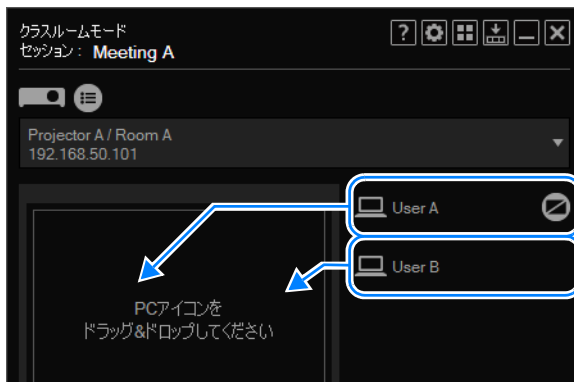


- 「セッションパスワード」を設定すると、他のユーザーがセッションに参加する場合にそのパスワードの入力が必要になります。設定する場合は [Set] をクリックし、パスワードを設定してください。
- 「下位互換」は、セッションの互換性を設定します。
[ON]に設定すると、NMPJのバージョンが V1.0 で動作するプロジェクターやコンピューターはセッションに参加することができますが、音声機能や PbyP 機能など一部の機能が使用できなくなります。
[OFF] に設定すると、セッションの作成時に選択したプロジェクターによって、セッションの互換性および使用できる機能が決まります。
選択したプロジェクターのNMPJのバージョンが V1.3 に対応したプロジェクターのみの場合、NMPJ のバージョン V1.0 で動作するプロジェクターおよびコンピューターは、セッションに参加できなくなりますが、NMPJ のバージョン V1.3 の全機能を使用することができます。
また、NMPJ のバージョン V1.0 のプロジェクターが含まれる場合、NMPJ のバージョン V1.0 で動作するプロジェクターやコンピューターはセッションに参加することができますが、音声機能や PbyP 機能など一部の機能が使用できなくなります。NMPJ のバージョン V1.1/V1.2/V1.3 で動作するプロジェクターやコンピューターのみで作成したセッションでは、音声機能や PbyP 機能などの機能が使用できます。
- デスクトップ選択機能が有効になるのは、コンピューターがデュアルモニターをサポートしている場合だけです。

- 6** クラスルームモード画面が表示されます。投写を制御するプロジェクターをプルダウンリストから選択します。



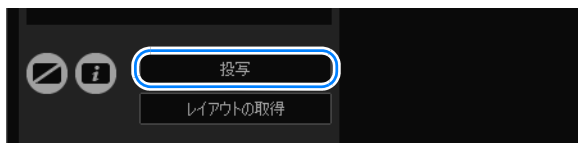
- 7** 選択したプロジェクターで投写したいコンピューターを右の一覧から選択し、レイアウトエリアにドラッグ&ドロップします。
最大 4 台までのコンピューターをレイアウトエリアに配置できます。



- 8** 必要に応じ、レイアウトエリア内で投写したいコンピューターのレイアウトをドラッグ&ドロップにより変更します。
投写時には、レイアウトエリアでの配置に合わせて各コンピューターの画面が投写されます。



9 [投写] をクリックします。





レイアウトしたコンピューターの画面が投写されます。



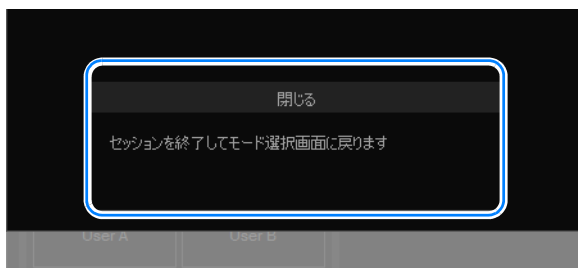
- 投写を停止するには、[投写停止] をクリックします。
- 投写中にレイアウトを変更した場合は、改めて [投写] をクリックしてください。レイアウトを変更しただけでは、変更内容は投写に反映されません。

10 セッションを終了する場合は、画面右上の または をクリックします。



-  ボタンをクリックした場合は、モード選択画面に戻ります。
-  ボタンをクリックした場合は、接続方法選択画面に戻ります。

11 確認画面が表示されます。[閉じる] ダイアログをクリックします。




操作手順（参加者の場合）

- 1 モード選択画面で「クラスルームモード」を選択します。

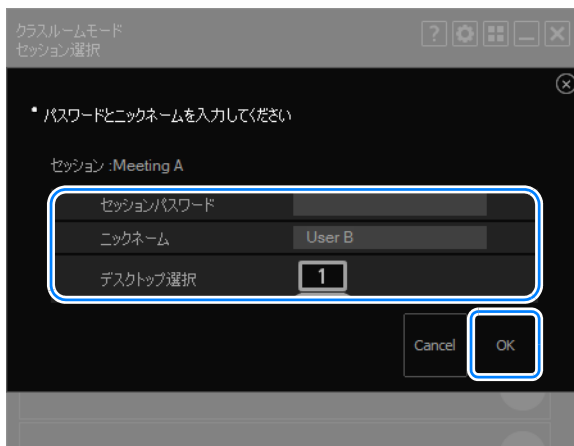


- 2 セッション選択画面が表示されます。参加するセッションの「Enter」をクリックします。



サブネット外のセッションに参加する場合は、 をクリックし、プロジェクターの IP アドレスまたはホスト名を入力して検索を行ってください。サブネット外のセッションが検索されます。詳しくは「セッション選択画面を活用する」(P54) を参照してください。

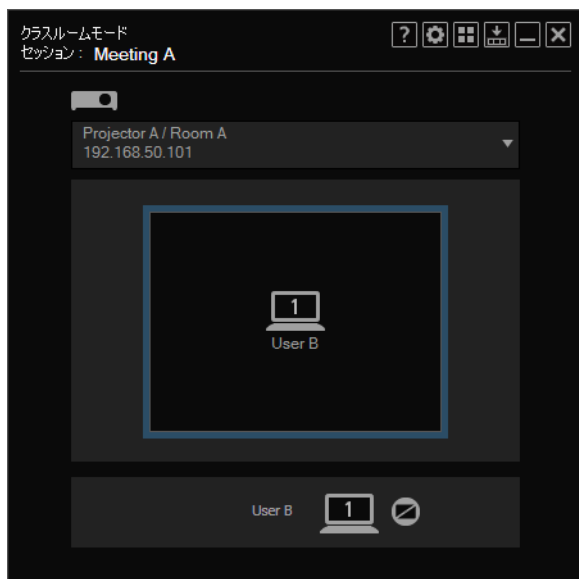
- 3 セッションへのログイン画面が表示されます。セッションパスワード、自分のニックネーム、デスクトップ選択（プライマリモニター / セカンダリモニターのどちらを表示するか）を設定し、「OK」をクリックします。





デスクトップ選択は、コンピューターがデュアルモニターに設定されている場合にのみ表示されます。



クラスルームモードで使用する

- 4** クラスルームモード画面（参加者用）が表示されます。参加者は、レイアウトの変更、投写の開始、停止は設定できません。

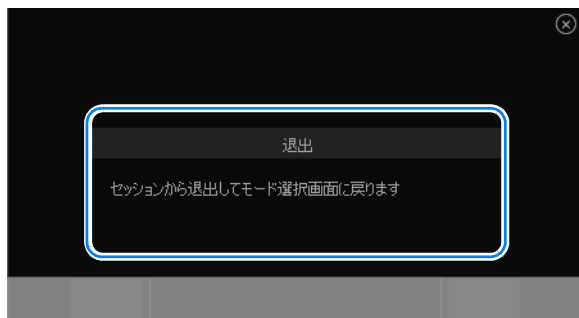


- 5** セッションを退出する場合は、画面右上の  または  をクリックします。

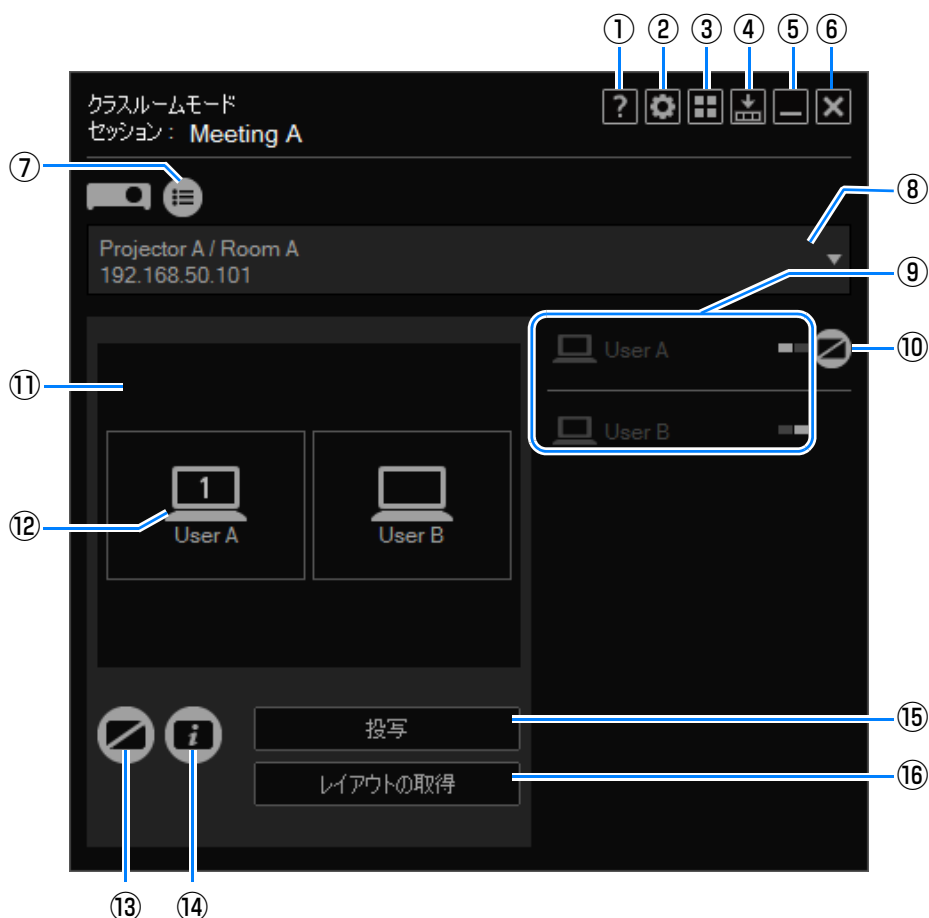


-  ボタンをクリックした場合は、モード選択画面に戻ります。
-  ボタンをクリックした場合は、接続方法選択画面に戻ります。

- 6** 確認画面が表示されます。[退出] ダイアログをクリックします。



クラスルームモード画面（司会者用）について



①ヘルプ

本アプリケーションのヘルプを表示します。

②設定画面表示

設定画面を表示します。

③モード選択画面に戻る

モード選択画面に戻ります。

④小型化

画面を小型化します。(P70)

⑤最小化

画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑥終了

接続方法選択画面に戻ります。

⑦プロジェクターリスト


プロジェクターリストを表示します。

⑧プロジェクタープルダウンリスト

接続しているプロジェクターの一覧が表示されます。ここで選択したプロジェクターが、この画面での設定対象になります。

⑨コンピューター

接続中のコンピューターの一覧です。コンピューターをレイアウトエリアにドラッグ&ドロップすることで、投写できるようになります。一番上のコンピューターは、自分自身のコンピューターを示します。

 は、白い点がレイアウトエリアでのこのコンピューターの位置を表します。

⑩コンピューターブランク

プロジェクターの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑪レイアウトエリア

コンピューターをここにドラッグ&ドロップして、コンピューターの投写位置を決めます。

⑫配置されたコンピューター

ドラッグ&ドロップで配置を変えることができます。自分のコンピューターで、セカンダリモニターが有効な場合のみ、数字が表示されます。

クリックすることで、プライマリモニター / セカンダリモニターを切り換えることができます。

⑬プロジェクターブランク

プロジェクターの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑭情報表示

他のユーザーがセッションに参加する際に必要となる情報をプロジェクターで投写します。ここで投写される IP アドレスまたはホスト名は、セッションに使用されているいずれかのプロジェクターのものであります。

⑮投写

プロジェクターでの投写を開始します。投写中は、ボタンが「投写停止」になり、クリックすることで投写が停止します。

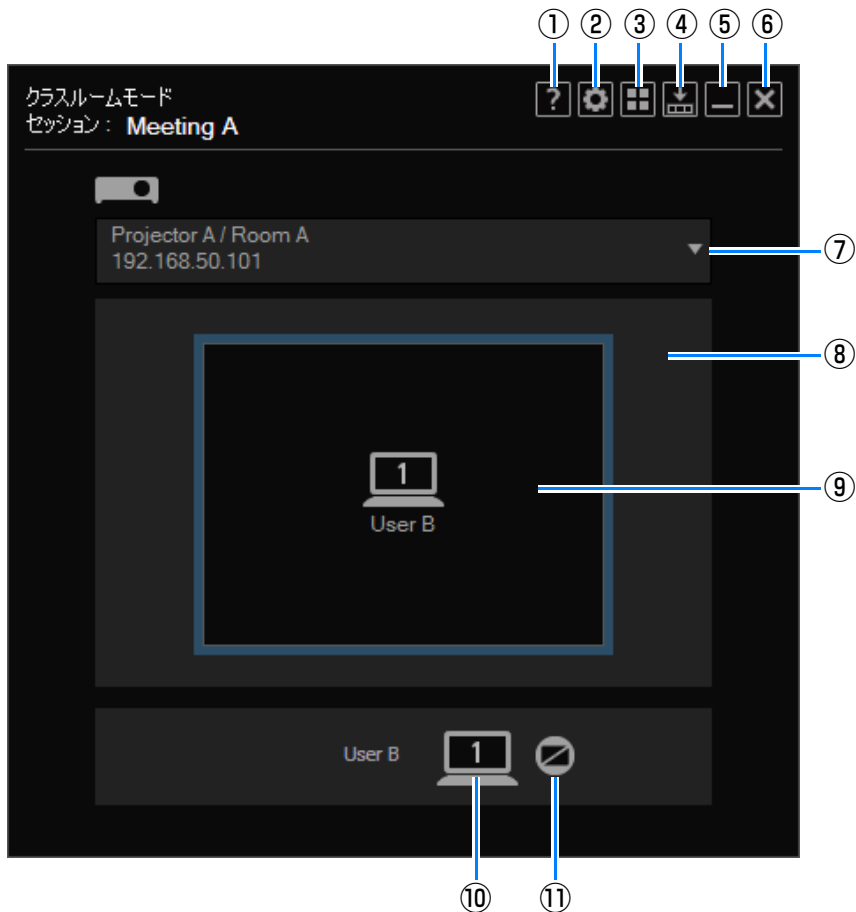
⑯レイアウトの取得

選択中のプロジェクターのレイアウトを表示します。



プロジェクタープルダウンリストで「ALL」を選択した場合、「レイアウトの取得」がグレースケール表示されます。

クラスルームモード画面（参加者用）について



①ヘルプ

本アプリケーションのヘルプを表示します。

②設定画面表示

設定画面を表示します。

③モード選択画面に戻る

モード選択画面に戻ります。

④小型化

画面を小型化します。(P70)

⑤最小化

画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑥ 終了

接続方法選択画面に戻ります。

⑦ プロジェクタープルダウンリスト

接続しているプロジェクターの一覧が表示されます。ここで選択したプロジェクターが、この画面での設定対象になります。

⑧ レイアウトエリア

投写用に選択されたコンピューターが表示されます。

⑨ 投写状況

投写状態を表示します。

⑩ コンピューター

お使いのコンピューターで、セカンダリモニターが有効な場合のみ、数字が表示されます。クリックすることで、プライマリモニター／セカンダリモニターを切り換えることができます。

⑪ コンピューターブランク

このコンピューターからの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

ブロードキャストモードで使用する

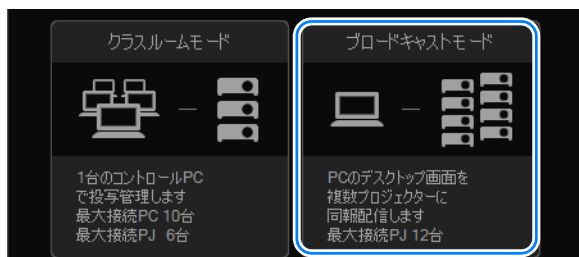
ブロードキャストモードでは、1 台のコンピューターを最大 12 台のプロジェクターに接続します。



無線ダイレクト接続時は、ブロードキャストモードは使用できません。

操作手順


1 モード選択画面で【ブロードキャストモード】を選択します。



2 プロジェクター選択画面が表示されます。左のプロジェクター一覧から、接続するプロジェクターをクリックします。

プロジェクターは最大 12 台まで選択できます。選択されたプロジェクターは右の一覧に表示されます。



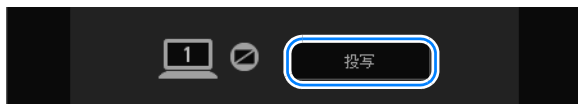
- プロジェクターの設定画面で、NMPJ Password が設定されている場合は、パスワードの入力を求められるので、パスワードを入力してください。NMPJ Password については、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。
- プロジェクターの選択を解除するには、プロジェクターの右上の  をクリックしてください。
- プロジェクター選択画面については、「プロジェクター選択画面を活用する」(P57) を参照してください。

ブロードキャストモードで使用する


3 [次へ] をクリックします。



4 ブロードキャストモード画面が表示されます。[投写] をクリックします。





コンピューターの画面が投写されます。

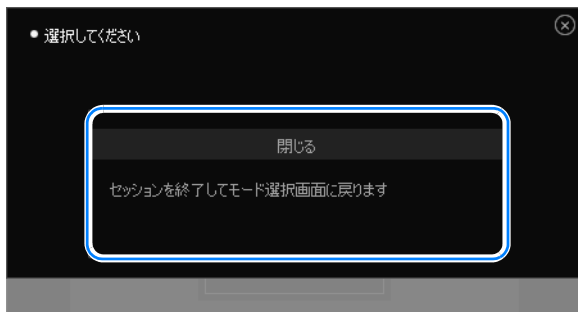
 投写を停止するには、[投写停止] をクリックします。

5 セッションを終了する場合は、画面右上の または をクリックします。

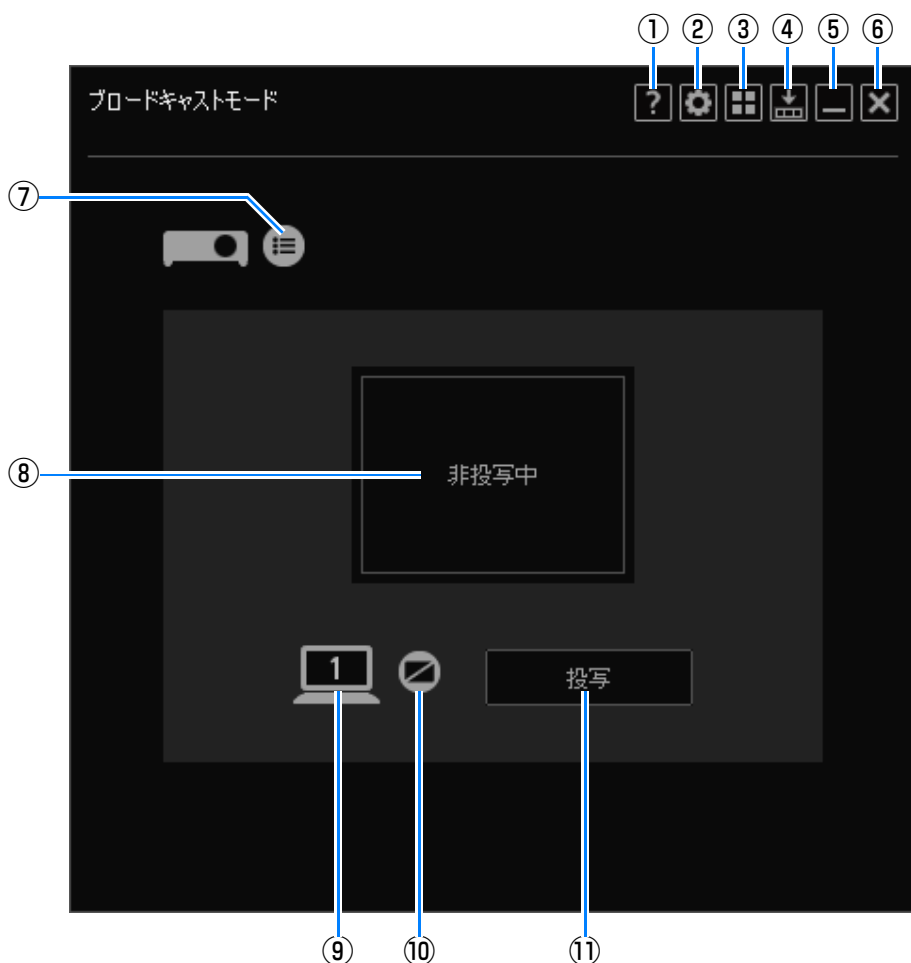


-  ボタンをクリックした場合は、モード選択画面に戻ります。
-  ボタンをクリックした場合は、接続方法選択画面に戻ります。

6 確認画面が表示されます。[閉じる] ダイアログをクリックします。



ブロードキャストモード画面について



①ヘルプ

本アプリケーションのヘルプを表示します。

②設定画面表示

設定画面を表示します。

③モード選択画面に戻る

モード選択画面に戻ります。

④小型化

画面を小型化します。(P70)

⑤最小化

画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑥終了

接続方法選択画面に戻ります。

⑦プロジェクターリスト

プロジェクターリストを表示します。

⑧投写状況

投写状態を表示します。

⑨プライマリモニター / セカンダリモニター切り換え

お使いのコンピュータで、セカンダリモニターが有効な場合のみ、数字が表示されます。クリックすることで、プライマリモニター / セカンダリモニターを切り換えることができます。

⑩プロジェクターブランク

プロジェクターの投写を一時的に停止します。もう一度クリックすると、投写を再開します。

⑪投写

プロジェクターでの投写を開始します。投写中は、ボタンが「投写停止」になり、クリックすることで投写が停止します。

機能

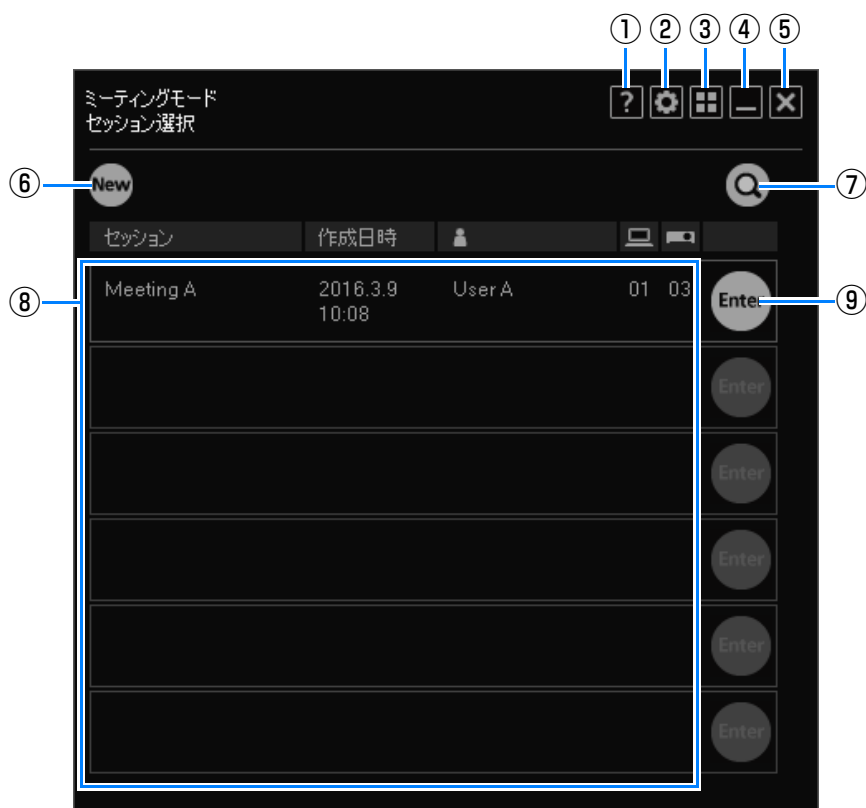
ネットワーク・マルチ・プロ
ジェクションの概要

各モードでの操作

機能

セッション選択画面を活用する

セッション選択画面について



①ヘルプ

本アプリケーションのヘルプを表示します。

②設定画面表示

設定画面を表示します。

③モード選択画面に戻る

モード選択画面に戻ります。

④最小化

画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

⑤終了

接続方法選択画面に戻ります。

⑥ [New]

新しくセッションを作成します。(P30)

⑦ セッション検索

参加したいセッションをプロジェクターのIPアドレスまたはホスト名で検索します。過去の検索履歴（最大5件）から選択することもできます。

⑧ セッション一覧

セッションの一覧が表示されます。表示される情報は、セッション名、作成日時、作成者のニックネーム、コンピューターの参加台数、プロジェクターの参加台数です。

⑨ [Enter]

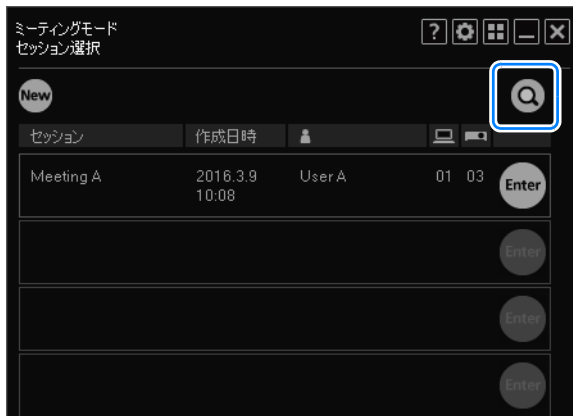
セッションに参加します。(P35)

セッションへの参加は、セッション作成時の接続方法（インフラ接続または無線ダイレクト接続）と同一の接続をしている場合のみ可能です。接続方法が異なるために参加できないセッションは、クリックするとメッセージが表示されます。


セッションを検索する

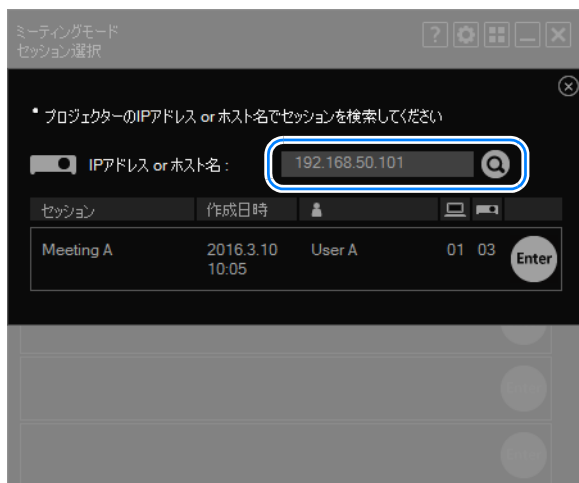
セッション選択画面でセッションを検索することができます。

1 セッション選択画面で 🔍 をクリックします。



セッション選択画面を活用する

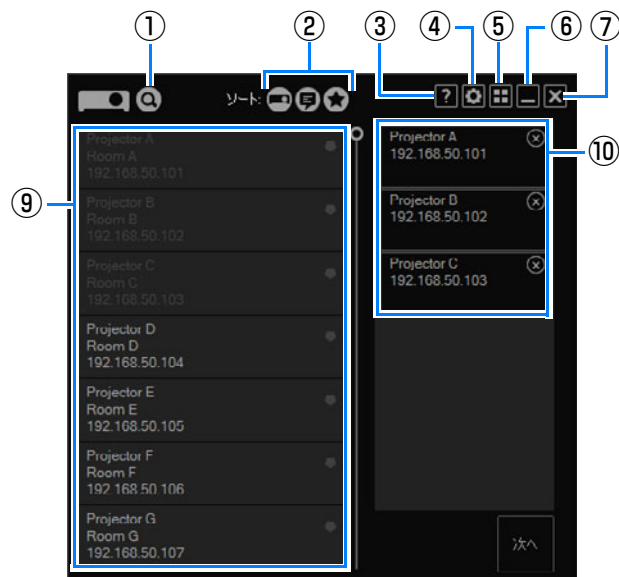
- 2** 検索画面が表示されます。参加したいセッションに含まれるプロジェクターの IP アドレスまたはホスト名を入力し、 で検索します。過去の検索履歴（最大 5 件）から選択することもできます。見つかったセッションが表示されます。



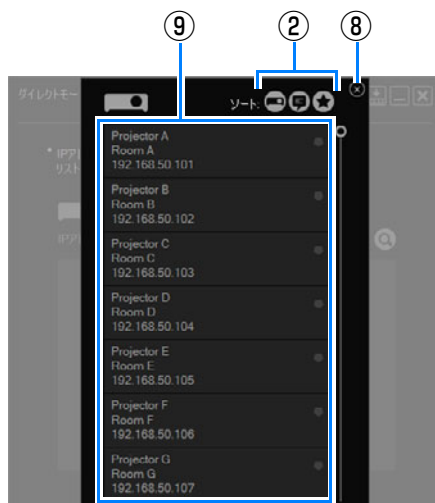
プロジェクター選択画面を活用する

プロジェクター選択画面について

■ダイレクトモード以外するとき



■ダイレクトモード選択時



① プロジェクター検索

サブネット外のプロジェクターを検索します。過去の検索履歴（最大 5 件）から選択することもできます。（P58）

② ソート

プロジェクター一覧を並べ替えます。（P60）

③ ヘルプ

本アプリケーションのヘルプを表示します。

④ 設定画面表示

設定画面を表示します。

⑤ モード選択画面に戻る

モード選択画面に戻ります。

⑥ 最小化

画面を最小化し、タスクバーに表示します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の表示に戻ります。

プロジェクター選択画面を活用する

⑦終了

セッション作成時（セッションリスト画面の NEW クリックで表示した場合）は、接続方法選択画面に戻ります。セッション作成後（ミーティングモード画面、クラスルームモード画面、ブロードキャストモード画面のプロジェクターリストボタンから表示した場合）は、表示元の画面に戻ります。

⑧ダイレクトモード画面に戻る

ダイレクトモード画面に戻ります。

⑨プロジェクター一覧

プロジェクターが表示されます。表示される情報は、プロジェクターの名前、コメント、IPアドレスまたはホスト名、無線マーク（無線 LAN 接続の場合）です。

他のコンピューターが使用中または、インフラ接続したプロジェクターの電源が OFF など、現在使用できないプロジェクターは、クリックするとメッセージが表示されます。ただし、無線 LAN が有効になっているプロジェクターは、電源が OFF の場合、一覧に表示されません。

一覧でクリックしたプロジェクターは、セッションで使用するプロジェクターとして選択され、右側の欄に表示されます。選択されたプロジェクターは、グレーの文字で表示されます。


選択したプロジェクターは、
グレーの文字で表示されます。

選択していないプロジェクター、他のコンピューターで使用中のプロジェクター、電源が OFF のプロジェクターは白文字で表示されます。また、他のコンピューターで使用中のプロジェクター、電源が OFF のプロジェクターをクリックするとメッセージが表示されます。

Projector B Room B 192.168.50.102	●
Projector C Room C 192.168.50.103	●
Projector D Room D 192.168.50.104	●
Projector E Room E 192.168.50.105	●

⑩セッションで使用するプロジェクター一覧

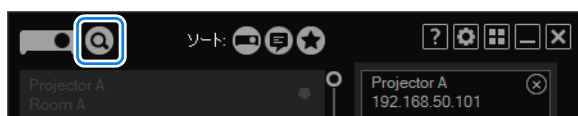
左のプロジェクター一覧で選択したプロジェクターが表示されます。


この一覧から削除する場合は、 をクリックします。

■ プロジェクターを検索する

サブネット外のプロジェクターを検索するには、プロジェクター選択画面で以下の操作を行います。

1 プロジェクター選択画面で をクリックします。



- 2 検索画面が表示されます。プロジェクターの IP アドレスまたはホスト名を入力し、 をクリックします。過去の検索履歴（最大 5 件）から選択することもできます。



- 3 プロジェクターが検索されたら、[OK] をクリックします。

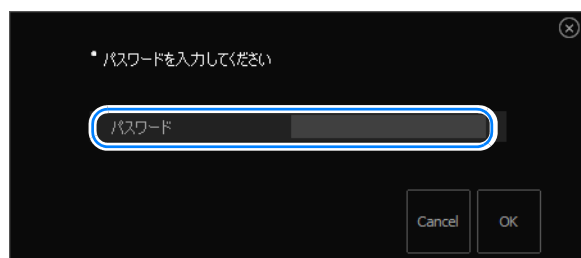


選択したプロジェクターがプロジェクターリストに追加されます。

■ パスワードの設定されたプロジェクターを選択する

パスワードの設定されたプロジェクターを選択すると、パスワード入力画面が表示されます。

正しいパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。



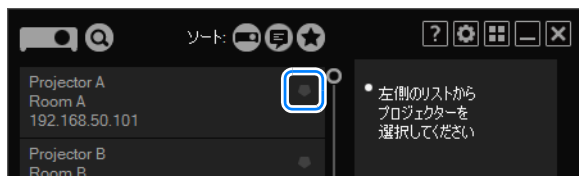
正しいパスワードが入力されなかった場合、またはパスワード入力が設定されていない場合は、パスワード入力画面がエラー表示されます。

■ お気に入り機能を使用する

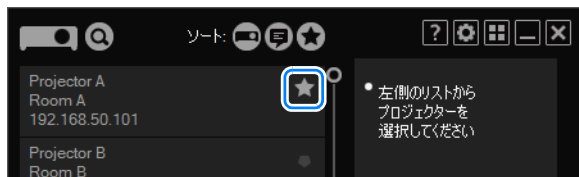
よく使うプロジェクターをお気に入りに登録することができます。

お気に入りに登録したプロジェクターは、★（お気に入りソートボタン）をクリックすることで、プロジェクターリストの上のほうに表示することができます。

お気に入りに登録するには、プロジェクター選択画面でお気に入りマークをクリックします。



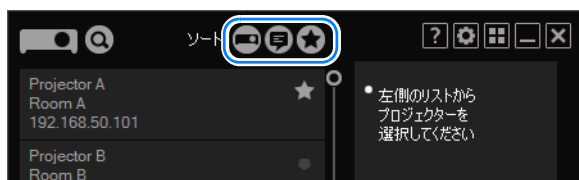
プロジェクターがお気に入りに登録され、お気に入りマークが星形に変わります。




無線ダイレクト接続の場合は、お気に入り機能を使用できません。


■ プロジェクター一覧を並べ替える

ソートボタンをクリックすることで、プロジェクターを並べ替えることができます。



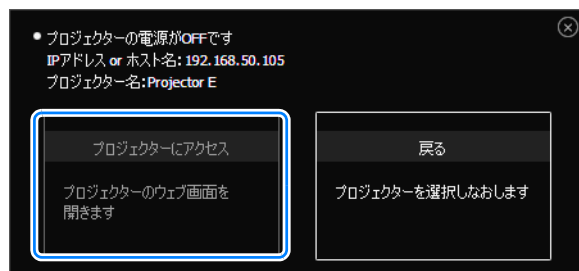
 プロジェクター名順に並べ替えます。

 コメントの名前順に並べ替えます。

 お気に入り登録したものが上にくるよう並べ替えます。

■ プロジェクターの電源を ON にする

プロジェクター選択画面で電源が切れた状態のプロジェクターをクリックすると、メッセージが表示されます（電源が切れた状態では、プロジェクターを選択できません）。メッセージ画面の「プロジェクターにアクセス」をクリックすることで、プロジェクターのウェブ画面が表示され、プロジェクターの電源を ON にすることができます。



以降の操作は、ウェブ画面で行います。ウェブ画面については、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。



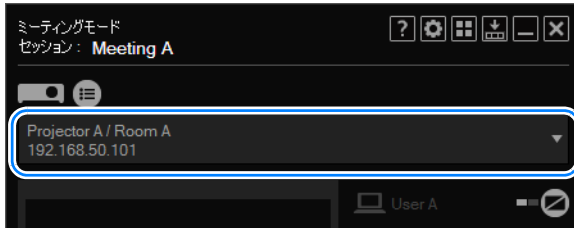
電源を ON にすることで、プロジェクターが選択できるようになります。

レイアウト機能を活用する

■ 操作するプロジェクターを切り換える

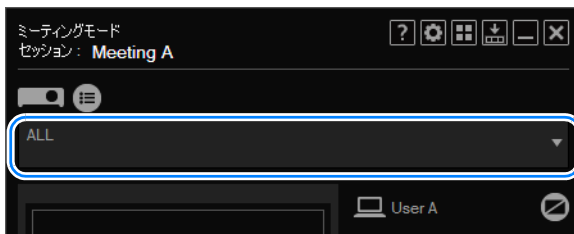
ミーティングモード画面とクラスルームモード画面（司会者用）では、プロジェクターの投写レイアウトを設定することができます。

設定対象のプロジェクターを切り換えるには、プロジェクターのプルダウンリストから、プロジェクターを選択します。



■ プロジェクターを一括して操作する

プロジェクターのプルダウンメニューで「ALL」を選択することで、すべてのプロジェクターの投写レイアウトを一括して設定することができます。

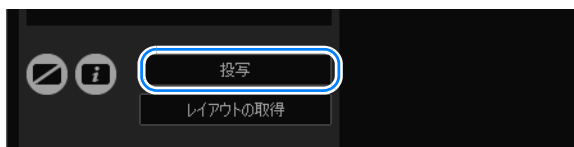


■ 複数のプロジェクターで投写する（マルチ投写）

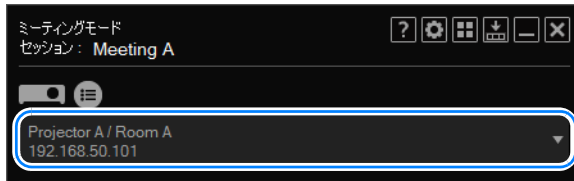
ミーティングモードやクラスルームモードでは、複数のプロジェクターでそれぞれ別の画像を投写することができます。この機能をマルチ投写といいます。マルチ投写をする場合は、ミーティングモードまたはクラスルームモードのレイアウト機能画面で、使用するプロジェクターに対して1つずつ投写レイアウトを設定していきます。

1 ミーティングモードまたはクラスルームモードのレイアウト機能画面で、1つめのプロジェクターの投写レイアウトを設定します。

レイアウトエリアにコンピューターをドラッグ&ドロップし、[投写] をクリックすることで、画像が投写されます。



2 プロジェクターのプルダウンリストから、使用する別のプロジェクターを選択します。

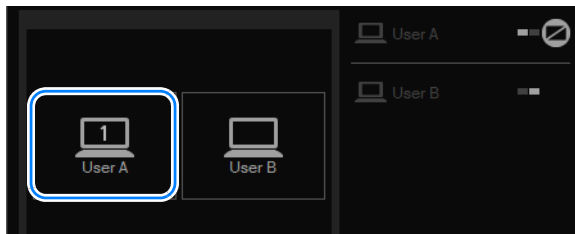


3 手順 1、2 を繰り返し、使用するすべてのプロジェクターで投写するコンピューターを設定します。

■ プライマリモニター / セカンダリモニターを切り換える

本アプリケーションでは投写するモニターをプライマリモニターとセカンダリモニターとで切り換えることができます。

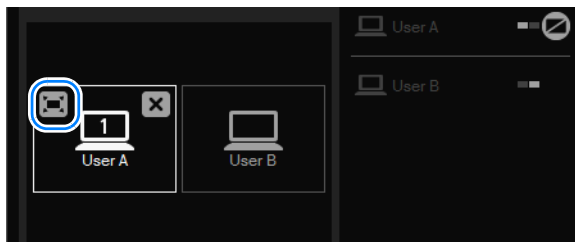
自分のコンピューターがセカンダリモニターに対応している場合、コンピューターが数字付きで表示されます。「1」はプライマリモニター、「2」はセカンダリモニターを表します。投写するモニターを切り換えるには、数字付きのコンピューターをクリックします。





■ 一時的に 1 つの画面を拡大する

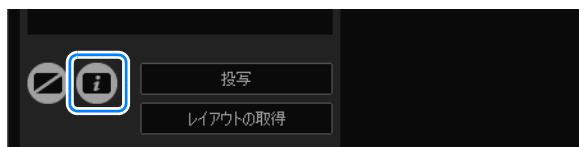
複数のコンピューターを投写しているとき、いずれかのコンピューターの投写を拡大することができます。拡大表示をするには、レイアウトエリアのコンピューターにポインターを重ね、左上の [拡大] をクリック後、[投写] をクリックします。選択したコンピューターの映像が、全画面サイズで投写されます。

拡大表示を解除するには、再度レイアウトエリアのコンピューターにマウスポインターを重ねます。左上に [縮小] が表示されるのでクリック後、[投写] をクリックします。





■ セッション情報を投写する

他のユーザーがセッションに参加するうえで必要となるセッション情報（接続方法、セッション名、プロジェクターのIPアドレスまたはホスト名）をプロジェクターで投写することができます。セッション情報を投写するには、 をクリックします。表示を消すには、もう一度  をクリックします。



無線ダイレクト接続の場合は、セッション情報として、SSID も投写します。

■ 投写をすべてブランクにする

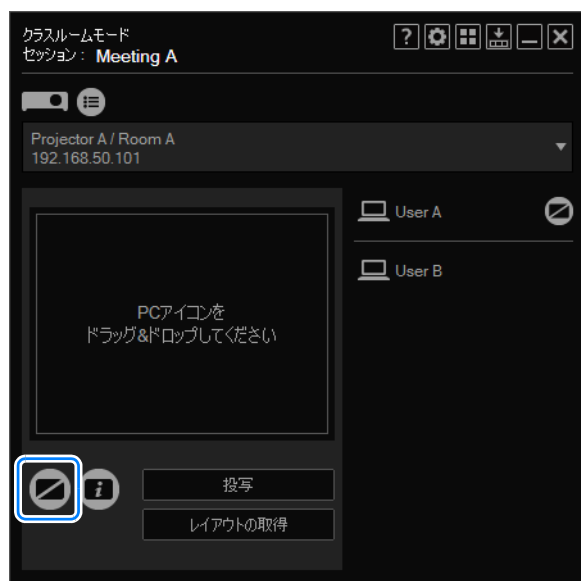
ブランクは、コンピューターからの投写を停止し、一時的に何も投写しない状態にすることです。ブランクにするには、 をクリックします。ブランクを解除し通常の投写に戻るには、もう一度  をクリックします。



ダイレクトモード画面



ミーティングモード画面





クラスルームモード画面(司会者用)



ブロードキャストモード画面

■ 自分のコンピューターの投写をブランクにする

ミーティングモードとクラスルームモードでは、自分のコンピューターのみをブランクにすることができます。自分のコンピューターをブランクにするには、コンピューター一覧の  をクリックします。ブランクを解除し通常の投写に戻るには、もう一度  をクリックします。



ミーティングモード画面



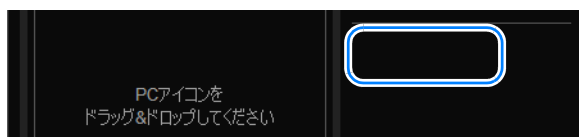
クラスルームモード画面(参加者用)

■ セッション中にコンピューターが参加 / 退出した場合

ミーティングモードとクラスルームモードでは、セッションの途中でコンピューターが参加したり、参加しているコンピューターが退出することができます。参加してきた場合、画面のコンピューターの一覧に参加したコンピューターが表示されます。




また、参加していたコンピューターが退出した場合は、コンピューター一覧からそのコンピューターが消えます。



各種設定を実施する

コンピューターから投写する画質やニックネームなど、本アプリケーションの設定を変更することができます。

- 1 本アプリケーション上部に表示されている  をクリックします。
- 2 設定画面が表示されます。各項目を設定し、[OK] をクリックします。
設定画面で設定された内容が保持されます。



設定できる項目は以下のとおりです。これらの設定値は、ユーザー（アカウント）単位で保持しているため、同一のコンピューターの同一アカウントでログインすることで、次回本アプリケーションの起動時に同じ設定で 사용할 ことが可能です。



小型化した画面より設定画面を表示させると、一部が画面外に表示される場合があります。

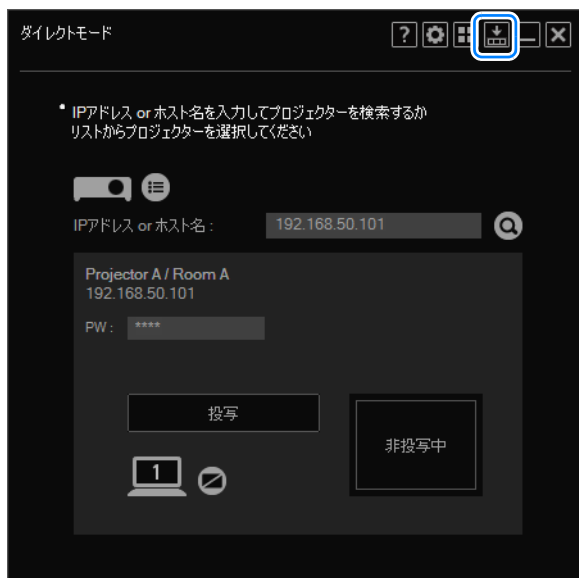
画質設定	高	： フレームレートを落として画質を優先させます。画質を劣化させたくない場合はこのモードを選択してください。
	中	： 画質とフレームレートのバランスを考慮します。（初期値）
	低	： 画質を落としてフレームレートを優先させます。ネットワークの使用帯域を低減したい場合は、このモードを選択してください。
リアル	On	： コンピューターのモニターの解像度で投写します。本機能が有効になるのは以下の場合です。 <ul style="list-style-type: none">・ 1 台のコンピューターで投写する・ 複数台のコンピューターで投写中に、その中の 1 台のコンピューターを拡大投写する・ コンピューターのモニター解像度がプロジェクターの投写解像度より低い場合
	Off	： プロジェクターの画面サイズに合わせて、自動で投写サイズを調整します。（初期値）

投写タイプ	<p>ノーマル : 一部投写されないウィンドウがありますが、コンピューター上のカーソルは点滅しません。(初期値)</p> <p>アドバンス : ほとんどのウィンドウが投写されますが、コンピューター上のカーソルが点滅します。(点滅はコンピューター上のみで、投写される画面では点滅しません)</p> <p>※ 画面キャプチャーを制限するソフトウェアが動作している場合は、どちらのモードでも本アプリケーションでの投写ができません。</p>
サウンド	<p>音声転送機能を設定します。この項目は、NMPJ のバージョンが V1.0 で動作するプロジェクターやコンピューターを含むセッションでは表示されません。</p> <p>On : コンピューター上で映像とともに再生される音声を、プロジェクターに転送します。映像を投写中のプロジェクターから、音声も同時に出力します。(初期値) プロジェクターの音声入力端子選択で「LAN」を選択しておく必要があります。 本機能が有効になるのは、1 台のコンピューターで投写する、または、複数台のコンピューターで投写中に、その中の 1 台のコンピューターを拡大投写する場合です。 NMPJアプリケーション側で投写をブランクにした場合は音声も出力を停止しますが、プロジェクター側でブランク機能を [ON] にしても音声出力は停止しません。 音量はNMPJアプリケーションが自動調整しています。</p> <p>Off : 音声を転送しません。プロジェクターは音声出力を停止します。</p>
ニックネーム	<p>セッションを作成したとき (参加したとき) に設定したニックネームです。セッション中に変更できます。初期値はコンピューター名です。 ニックネームには、半角 (1 ~ 15)、全角 (1 ~ 7) 文字の設定が可能です。</p>
オートアップデート	<ul style="list-style-type: none"> 本アプリケーションのオートアップデートの有効/無効を切り替えます。 設定の変更は、本アプリケーションの次回起動時から反映されます。 <p>On : オートアップデートを有効にします。(初期値)</p> <p>Off : オートアップデートを無効にします。</p>

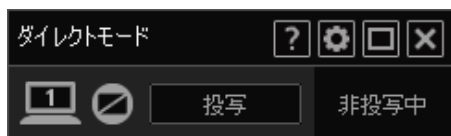
画面を小型化する


各モードの画面は、小型化して最小限のボタン、情報だけを表示する状態にできます。

1  をクリックします。




画面が小型化されます。



 マウスが画面上にない場合は、タイトルバーが消え、さらに小さくなります。



2 元のサイズに戻すには、 をクリックします。



LAN 以外の映像と 2 画面表示する

LAN を介した映像と、それ以外の映像入力（HDMI、デジタル PC、アナログ PC、コンポーネント信号、HDBaseT）との 2 画面表示が可能です。



USB 入力との 2 画面表示はできません。

セッションに NMPJ アプリケーション バージョン 1.0 のコンピューターおよびプロジェクターが参加している場合、LAN 側の画面が無信号画面となり、何も表示されません。

LAN を 2 画面表示の片方の画面に設定することができます。2 画面表示については、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。



LAN を介して投写された映像

LAN 以外の映像入力

2 画面のレイアウトは、50 : 50 表示にのみ対応しています（70 : 30 表示、30 : 70 表示は選択できません）。

本アプリケーションの映像送信先のプロジェクターが 1 台でも 2 画面表示をしている場合、画質は自動的に「低」（速度優先）に固定されます。

ただし、設定画面の画質設定自体は変更されません。2 画面表示を終了すると、設定している画質に戻ります。

■ 接続可能な台数を超えた場合

接続できるコンピューターやプロジェクターの数はモードごとに決まっています。上限数を超えてのセッションへのコンピューターの参加、プロジェクターの追加はできません。複数のコンピューターから同時に、上限を超えるセッションへの参加要求があった場合には、参加が拒否されることがあります。その場合、参加に失敗したコンピューターには、エラーメッセージが表示されます。

複数のコンピューターから同時に、上限を超えるプロジェクターのセッションへの追加指示があった場合には、プロジェクターの追加に失敗することがあります。その場合、プロジェクターの追加に失敗したコンピューターには、プロジェクターリストが更新された旨のメッセージが表示されます。

■ 1 台しかないプロジェクターを削除しようとした場合

ミーティングモード、クラスルームモード、ブロードキャストモードでは、セッション作成後もプロジェクターの追加と削除が可能です。ただし、最後の 1 台を選択解除するとセッション内に接続中のプロジェクターが存在しなくなるため、操作確認のメッセージが表示されます。

■ 通信が切断された場合

LAN ケーブルが抜ける、無線 LAN の電波が届かないなどで通信が切断された場合、通信できなくなったコンピューターやプロジェクターはセッションから抜けたこととなります。セッションに含まれるコンピューターかプロジェクターがなくなった時点でセッションは終了します。

クラスルームモードでは、司会者のコンピューターが切断されるとセッションは終了します。

■ 無線 LAN が有効なプロジェクターがスタンバイになった場合

パワーマネージメントモードの設定により、プロジェクターが自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になった場合、無線 LAN 通信は切断されます。プロジェクターは、プロジェクターリストに表示されなくなります。

■ ルーターについて

本アプリケーションでは、ルーターを使用してコンピューターとプロジェクターを接続してもネットワークの通信が可能です。動作保証はホップ数 1 までです。

■ 無線ダイレクト接続について

- 無線ダイレクト接続を利用するためには、無線 LAN 搭載モデルのプロジェクターを利用する必要があります。
- コンピューターがプロジェクターと無線ダイレクト接続している場合は、その無線 LAN インターフェースを用いて他の機器と無線接続することはできません。
- 電波状況が悪い環境ではプロジェクターとの接続に時間がかかったり、接続できない場合があります。

■ セキュリティ画面の投写について

セキュリティ画面（Ctrl + Alt + Del を押下した時に表示される画面）は、本アプリケーションでは投写することができません。

■ セキュリティソフトについて

画面キャプチャーを制限するソフトウェアが動作している場合には、本アプリケーションでの投写ができないことがあります。

■ アニメーションカーソルについて

アニメーションカーソルのアニメーション動作は投写されません。

■ カーソルについて

ソフトウェアによっては、カーソルが正しく投写できない場合があります。この場合、矢印カーソルが投写されます。

■ 投写の制限について

コンピューター上で表示されているウィンドウやアイコンの中には、プロジェクター側で投写できないものもあります。投写タイプをアドバンスにすることで、投写可能なものが増えますが、すべてを投写できるわけではありません。

コンピューターの画面とプロジェクターの投写画面とが一致しない場合もあります。

■ ネットワーク帯域について

ネットワーク回線の状態によっては、プロジェクターへの投写が遅延する場合があります。また、接続が不安定になり切断されることがあります。

■ ファイアウォールがインストールされている場合

Windows ファイアウォールなど、外部との通信を制限するソフトウェアがインストールされている場合、一部の機能が使用できないことがあります。

■ 表示について

Windows のカスタムテキストサイズの設定を変更した場合、本アプリケーションの表示が乱れることがあります。

■ 音声について

- アプリケーションの起動時に有効な再生デバイス（既定のデバイス）が必要です。有効な再生デバイス（既定のデバイス）が無い場合、音声は出力されません。
- コンピューターの設定や性能、ネットワークの状況によっては、音声途切れたり、音声と映像がずれることがあります。
- 以下のケースでは、音声出力されなくなります。再度音声を出力するには、アプリケーションの再起動が必要となります。
 - アプリケーション起動時の再生デバイス（既定のデバイス）が無効化された場合
 - アプリケーション起動時の再生デバイス（既定のデバイス）が切断された場合
 - 再生デバイス（既定のデバイス）の設定が変更された場合
 - 再生デバイス（既定のデバイス）が別のデバイスに変更された場合
 - システムがスリープ（休止状態含む）した場合

■ 映像について

コンピューターの設定や性能、ネットワークの状況によっては、コンピューターモニターの再生映像と比較してプロジェクターの投写映像はスムーズに再生できないことがあります。



お客様相談センター(全国共通番号)
050-555-90071

[受付時間] 〈平日〉9:00～17:00

(土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

NMPJ(Ver1.3)使用説明書

YT1-7481-000

© CANON INC. 2016